京城日報 言論出版の自由

秋月左都夫

社會本位とすれば個人の自由は大に制限せざる可からず。(普通國家主義と云ふ)個人本位なれば成るべく自由を制限せぬことをせざる可からず。但し過度の自由は社會全體の不利益となるの理なり。果して實際この傾向なきに非ず。一は秩序を主とし一は自由を主とするなり。此二つをして平衡を得せしめて調和せしむるが政治家の骨を折るべき所なるが個人の公共の利益を思ふの念の淺深と、思慮分別の多少に依つて法律上の制限、官憲の取締の寛嚴に等差は生ずるなり。子供なれば叱ること懲らすこと多けれども、大人に對しては其の必要の少きに異ならず。但し法は多數を目標とするものなれば、賢明の者少數なればお附き合に不自由をせざるを得ず故に多數の自由を享有せんと欲せば、成るべく多數申合せて思慮深遠にして大に自ら檢束するを要す。

吾人は朝鮮新聞が敢て不穩當なりとは云はざれども、朝鮮に於て新聞に從事する者は特に細心の注意を要することに思ひ到られんことを望まざるを得ず。總督府の施政に尙は不行屆きの點もあらん。末々の小吏輩には不心得もあらん必ずしも之を蔽ふを要せざるのみならず、隨分有益に之を指摘して當局者の注意を促がすは大に可なり。然れども誹謗は吾人の取らざる所にして、公衆生の投書の如き吾人は之を誹謗なりと目せざるを得ず此種の文字の取捨に付ては一層の注意を加へられんことを、吾人は敢て朝鮮新聞編輯主任者に切望するもの也。

元來自由其物が、左迄貴重なるに非ず。貴重なるは自由に依つて得る所の物なり。自由にあらざれば得る能はざる所の物が貴重なり。要するに自由を貴重するは、貴重なる物を得。貴重なる物を失はざらしめんが爲めのみ。若し自由の結果は不利益たること確かならんか、之を尊重すべきは不可なり。

朝鮮新聞の閑話目に云ふ所、一寸面白しと思はれざるにあらず。卽ち公衆生の投書は却て廣く知らるゝに至り、總督府の所期に反對の結果を見るべしとの皮肉なる考へなるが、是れ必ずしも然らず。總督府に於ては、此の種の文字を公にするは、治安の妨害なることを世に知らしめて標準を示すの目的もあること、信ずればなり。善惡邪正の標準と不當の標準を時々明かに示す必要あり。刑法を犯したる者を悉く檢擧すべきに非ずとも、餘り寛大其度を超ゆる時は、正邪善惡の識別に迷ふ者が出來るの憂ひあり。

文學と教育(一)

(文學趣味と初等教育者) 京城醫專教授 大内猪之介

我が國民ほど文學好きの國民は他に類例が無いでせう。上古の文學として今尙其の價値の尊重されてゐる萬葉集の和歌の作者は上は王侯貴人より下は賤山がつや漁る蜑にまで及んでゐます。これは當時の各階級を通じて何れも和歌の趣味を有し又よく和歌を作つたものだといふ事實を證據立てるのではありませんか、中古の王朝時代になると、文學の行はれる範圍が局限されて來て、所謂貴族文學の極盛を見まして文學の普及といふやうなことは望まれずに寧ろ貴族は文學に淫するともいふべき傾向で

京都以外

各地方がとかく騒亂勝ちなのも知らず顔に詩歌を弄んでゐるといふ狀態を呈しました。さうして貴族以外の一般階級は文學に趣味を有する餘裕もなかつたものと思はれます。鎌倉時代南北朝時代室町時代を經て德川時代になると、元和偃武の後を受けて太平の餘澤に浴し、各種の文學が翕然として勃興しました。從つて餘り學問のない下層社會の間にまで狂歌や川柳のやうなものが行はれて百花妍を競ふといふ有樣でございました。世の中が比較的よく治まり生活も其れ程せち辛くなかつた爲め、上下の各階級を通じて何等かの文學に首を突込んでみるといふ風があつて

平民文學

の隆盛を來したのは實に面白いことでございます。彼の白川樂翁として聞えた松平越中守定信が財政整理や諸弊匡正に從事して所謂寛政の改革を行ひ、一方大に文武を奬勵した際のこと蜀山人又は寢惚先生の名を以て聞ねてゐる狂歌師大田南畝が『世の中にかほどうるさきものはなしぶんぶと言うて夜も寢られず』といふ狂歌を詠じ出したのに、文武の奬勵を誹毀したものだ寛政の改革に慊らぬのに相違ないと言ふので幕府の忌諱に[illegible]しようとしたが只狂歌師[illegible]地位があつた譯ぢやな[illegible]になつてさしたる[illegible]めがなかつたといふ話がある。南畝の狂歌が出る度に一[illegible]して

下層社會

の平民どもが其の巧妙奇拔な諷刺や突梯諧謔な警句に共鳴して、如何にやんやと喝采したかが想像されるのであります。『さわらぬが握り拳を振り上げし山の構圖は風を吹く。』の狂歌なども最も人の口に膾炙したもので、通俗な語句を以て滑稽味を彩り、思はず人の頤を解かしめつ、客觀描寫の妙を得てゐるではありませんか。和歌より狂歌の一體が創められたやうに、俳句から一轉したもので詠み始めた柄井川柳の名に取りてこれは川柳と言はれた狂句の如きは、其の行はれた範圍が大に廣くて下層社會の隅々にまで及んでゐたのでありました穿ちとか擽くりとか言ふ

一種の諧謔

を巧妙に組い十七文字句の中に織込んでゐます。『居候三杯目にはそつと出し』『居候翼があついとて飯をうめ』『夏の夜や蚊を蚊帳にして五百兩』などの面白いのが幾らもあります。下層社會の者が文學の趣味性をこの方面に發露しようとして努力を試みたのは如何にも面白い尤もな現象であつたと首肯されます。德川時代に於ける各種文學の勃興は一般の階級をして大に文學に傾倒し文學を理解せしめたと同時に下層の人々にまで或種の文學に對する創作慾を發つたといふ點に於て意義があり價値があつたものと思はれます。

朝鮮の巫女に就て(九)

文學博士 鳥居龍藏

日本に於ても大本敎、天理王が盛んになつたのも、原始信仰の面影が殘つて居るのではないかと考へます。動もすると斯う言ふ風に走る氣味がある。良いか惡いか知りませぬが、此神道を通じて見ると今の神道の理窟は、佛教儒教なりに餘程調和されて居るけれども、古事記なんかを見ると餘程原始的のものがある。一種の民族性のものが現れて居る。朝鮮も日本も古くなればなる程共通點が多く認められる。夫れから

朝鮮の人

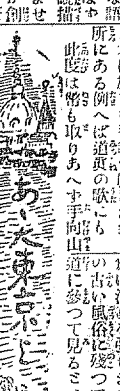
は固より一般の凡ゆる民族の顔から見て、容地の上、山、河、水、森、木、石、家屋、臺所、溫突等皆靈が宿つて居るものとして居ります。朝鮮に往つて見ると、東北部の亞細亞民族を見ましても、佛教基督教の這入らぬ時代は大概皆此考へを持つて居た。殊に佛教が東に這入つて參りまして、思想上の變化、文化上の變化を與へて居る。而してどこにも善い惡い靈が居る。

故に危險

で歩かれない。そこで峠を越ゆる時は手向けをする。峠の所には幣があるとか石を積んで歩くとか色々の神に手向ける、或は自分の上衣の紐を掛けるとか、所謂木があります。日本に於ても手向の風習が到る所にある。例へば道眞の歌にも此度は幣も取りあへず手向山紅葉の錦神のまに/\とあるが如く、今日は手向けをして峠を越ゆる者であるが、陛下のお供をして幣帛を持つてないから取敢ず紅葉を以て手向けの代りとすると言つて居る位だ。日本でも山を通ると手向けをする。朝鮮でも斯う言ふ風に

山へ往つて

此所には石を積んで居る。一つ宛石を置いて往く。布切を掛けて往く。又もスピリットに對する信仰を信じて、山には山の神、森には森の神それから靈を張ると言ふ事は日本に於ては最も神宗教上神社に於て唯々注連が儀式になつて居りますので、朝鮮に於てはさうでなく、例へば子供が生れますると、家の入口に南ならば竹、門に注連繩を張つて海藻等を吊ります。此家には子供が生れると言ふ事になる。或は清潔な白の爲に注連を張ります。是は朝鮮の古い風俗に殘つて居る。汪道に參つて見ると、良く分る。



六十六

奥野他見男

宿へ歸ると、まだ用分ばかり時間の餘裕があつた。何かして遊ばうかと云ふと、ダンスをしませうかと云ふ。

『ダンス?そりや素敵だ。然し蓄音機が無くちや』

『蓄音機はあるんですよ』

『蓄音機があつてもダンスの譜が無くちや』

『ソルッがあるんですよ』

『ワルツが?そりや素敵だ、始めよう、どこで?』

『展覽室を片附けたら』

『廣い?』

『わ、可成』

『ぢや然うしませう』

『あッさう/\倣子さんも呼びませう』

『倣子さんて?』

『實はね此間お宅から歸つて此處へ來て倣子さんと云ふお友達が出來たんです。ダンスの話をすると私も一遍見たい/\と始終仰言つてゐたんですが、お呼びしていゝ?』

『そりや構はぬさ』

『ぢやお誘ひして見ませう』

二人は其の部屋の前へ來た。邦子さんは『倣子さん』と云ひながらサッと障子を開けた。覗ると今や寢床に入らうと寢卷姿で腰を据めた刹那であつた。

『あらッ、御免なさい』

と、云ふが早いか邦子さんはピタリと閉めて了つた。己れもビタリと閉めて了つた。己れといふ男が此處に姿を見たと知つたら倣子さんは夥しい羞恥を感ずるだらうと察したからだ。

『この方がね今ダンスの稽古して見せると被仰るんですよ、あなたもいらつしやらない?』

『ぢや直、一寸待つて、下さい』

『ぢやね展覽室に待つてゐるから、あらつしやいな』

『では直ぐ』

一目見た倣子さんは見るからに理智の勝つたらしい令孃であつた。展覽室へ來る途中邦子さんは倣子さんは肺臟を患つた後の身體を此處へ來て養つてゐるのだと話した。

その部屋は海を眼下に見下す優秀な位置を占めてゐた。二人でテーブルだの椅子を片附けてゐる所へ倣子さんが帶をしめて遣つて來た。

『ねえ倣子さん、先日確かにワルツの譜がありましたね』

『わ、ありました』

『それ御覽なさい』

で、己に云ひながら、折柄何しに來るんだらうと覗きに來た女中に『濟みませんが蓄音機を貸して頂戴よ』と云つた。

『畏まりました』と女中は斷つて行つた。間もなく持つて來た。

『譜は?』

『いゝね』

『譜も要るんです。譜はねワルッと書いたのを貸して下さいつて奥へ行つて仰言つて下さいな』

『ワルツ?』

『さう、ワルッ』

女中は行つた。その中己れは邦子さんと抱き合つて踊つて見せた。踊り終ると『面白いでせう』と邦子さんは倣子さんの顔を見た。そして

『倣子さんも教へて貰つて御覽なさいよ』

倣子さんは遠慮なく進み來た。

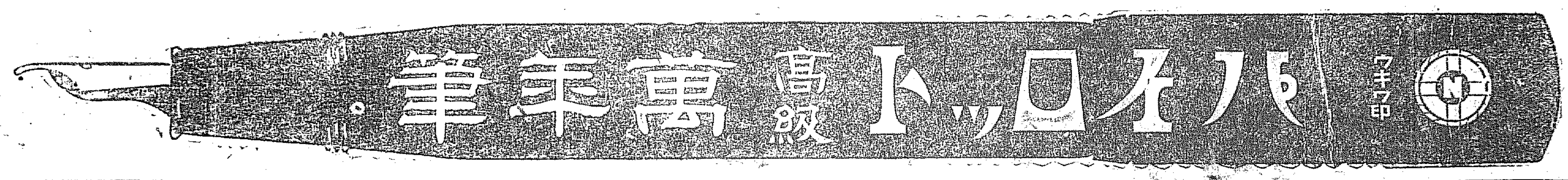
『身體を柔かくしてゐなくちや不可ませんよ』

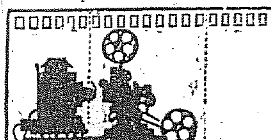
と云ひながら、部屋が狹いので歩くことが出來なかつたものだから、グル/\廻つて見せた。

『何うして斯う身體が何時の間にか廻るんでせう、足を何う云ふ風にするんです』と、言つてる時、女中が譜を持つて遣つて來た、邦子さんは調べた。

『之ぢや無いのに。ワルツと申したのに』

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓廿五錢 前金壹ヶ月同三圓 ...
廣告料金 五號十四字詰一行 ...
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番、長六千九番二 振替京城三〇〇番

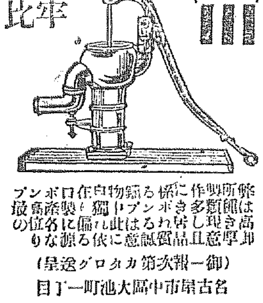




◎活動寫眞器械
便利なアクメ活動寫眞器械
◎幻燈器械
◎實物反射幻燈
◎活動寫眞フィルム 各種
▲衛生フィルム 各種
大阪市新町通一丁目(振大一九三二) 電話新町(一四三)(一四四)
寺田清本店
博多川端町(電七九八)寺田九州支店

男子部 女子部 生徒募集 規則書ハ郵券二錢入要セズ試驗
洋式裁縫師養成 卒業後ハ獨立自營ノ便ヲ與フ 裁斷科ニ限リ通信教授ノ設アリ
財團法人 大阪洋服學校 大阪市北區上福島中一丁目

洋服實費調製
冬服見本進呈 地方ノ方ニハ寸法取方ヲ附送ス
財團法人 大阪洋服學校實習部 大阪市北區上福島中一丁目(電話土二七五一番西城郷役所ノ西)



堅牢無比
(御一報次第カタログ進呈)
名古屋市中區大池町一丁目
川本製作所
長距離電話東三局二四七番 振替名古屋二五七七番

匿名氏編著 紙數百五十五頁 壹圓拾錢 送料四錢
新マルサス主義研究
要目 新マルサス主義とは何ぞや―英國に於ける新マルサス主義と其影響―和蘭に於ける公許と効果―佛國に於ける新マルサス主義と人口減退問題―獨逸に於ける新マルサス主義の論據―社會問題―優生學―國際問題―日本の人口問題結論
發行所 東京市麻布區新網町一丁目廿二番地 竹内書店
賣捌 全國各地有名書店

ネッスルミルクフード
母乳代用 病弱、老衰 産前、産後 催乳
到る處藥店食料品店にあり
創業1866年
包裝料として郵便切手拾錢と此の廣告の切拔送附の方に見本進呈
橫濱郵便局私書函三〇四 ネッスルミルク會社
F6 京城日報

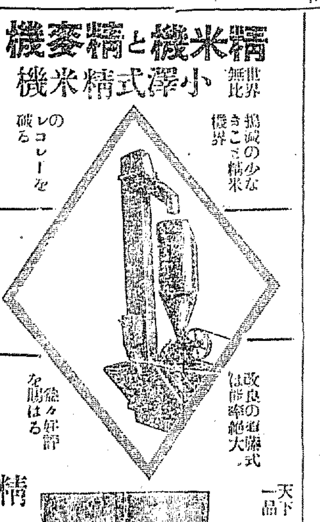
專賣特許 サイト紙
洗濯の出來る障子紙
總督府御用 一手發賣元 京城本町三丁目 國枝商會 電話一三六六

商業登記公告
株式會社十八銀行(變更)
取締役永見寛二、近藤二郎、松田一三ハ任期滿了ノ處大正拾年七月拾八日再任シタリ
右登記ス
長崎市西濱町四番地 松田一三
長崎市西築町五番地 松田綱次
大正拾年八月九日登記
京城地方法院仁川支廳

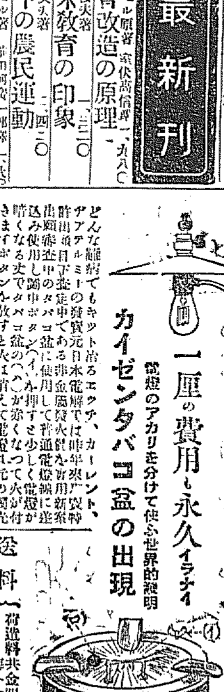
男女職業改造 新らしき發表
齒科技工師養成
小學卒業程度以上の學力ある男女は全くの素人でも僅二ヶ月の短期間に自宅で獨習研究ができ卒業すれば立派な技工士となれる本業でも副業でも收入多大 高給就職營業指導
實地研究の便宜を與ふ將來又齒科醫たらんと欲する入學には特典規定によりて貸費給費 營業用材料提供
詳細案内無代進呈 ハガキで申込次第
東京小石川大塚町 東京齒科學院

白熱的歡迎
朝鮮總督府參事官法學士 萩原彥三先生著
朝鮮行政法
菊判全一冊 定價二圓三十五錢(送料共)
◇本書は官制大改正後に於ける最新の行政法なれば普通試驗志望者は必ず本書を讀まざるべからず
發兌 京城本町二丁目 振替京城二四五番 巖松堂書店
賣捌 京城本町一丁目 振替京城二五七三 大阪屋號

精米機と精麥機
世界無比 小澤式精米機
搗減の少なきことと精米機界のレコードを破る
改良の須藤式は能率絶大
益々好評を賜はる
天下一品 須藤式精麥機
發賣元 東京 東辻商店



最新刊
應試者の羅針盤
朝鮮總督府 普通試驗問題全集
年々の普通試驗問題を悉く蒐めて之を各部に排列す。受驗手續、受驗人心得、參考規則等を悉く網羅す受驗者の必ず一緒すべき良書なり(送料共金四十六錢)
巖松堂書店編
發賣元 京城本町二丁目 巖松堂書店 (電話一一六六番) 振替京城二四五四番



一厘の費用で永久イラナイ
電燈のアカリを分けて使ふ世界的發明
カイゼンタバコ盆の出現
どんな難病でもキット治るエクチ、カーレント、アデルミーの電解で作る實用ブ...
定價 一組 コード十二尺 外部附屬一式附 六圓五十錢
送料 一組 内地共金四十錢 海外七十錢(使用法詳細に添付)
振替の御注文は東京三八四〇六番日本電解工業所
特約販賣店詳細申込次第回答
東京市本郷區大神町一ノ六六
日本電解工業所

最新刊
社會改造の原理 ラッセル原著 宗像高橋譯 一、九〇
歐米教育の印象 上原實著 一、三〇
現下の農民運動 (英國)英人著 一、二〇
海の文學 小泉八雲著 大谷正信譯 三、〇〇
光の中に歩め トルストイ原著 阿部次郎譯 一、〇〇
人生論 トルストイ原著 相馬御風 六〇
京城 大阪屋號 振替京城二五七三番 電話(六四番)(二八番)

寫眞秘術
意のまゝに寫眞が出來る
どんな名人でも又いかに巧妙な器械でも只だ寫しただけでは素人が見て満足するものは出來ません
寫眞を修整して其の缺點を補ひ美觀を添へる秘法を初めて公開す
整術人物修
...
發賣元 京城府太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇番 振替京城三〇〇番

新訂 四版 出來
前學務局長 北道長官 鈴木隆閣下題字
朝鮮總督府編輯課長 小田省吾氏序文
口鬼一先生著
内鮮對譯 書簡文 語譯附 書式
敎科書型 上製 ポケット型 クロース金文字入 參百餘頁 携帶至便頗美本
定價金七拾錢 送料六錢
方今國語の普及すると共に内鮮人間に於ける日常の對話及口語文の用途等は頗る擴大せられし誰も容易に書きする事の至らざるは遺憾とする所なり...
發賣元 京城府太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇番 振替京城三〇〇番

我が外務省は未だ正式通告に接せず

【東京電報】米國政府は愈十一日を以て日、英、佛、伊各國に對し來る十一月十一日華盛頓に開會すべき軍備制限太平洋及び極東外交問題會議に對し正式の招待状を發したりとの報道あれども我外務省には未だ正式通告に接し居らず帝國政府は該會議開會の趣旨に賛成し又開催地を華盛頓とするにも異議なく期日を十一月十一日に決定せるにも賛成の旨米國政府に通告しある故今正式招待状を發する手續を爲し居るのみなれば遠からず必ず事實なるべし米國代理大使ベル氏は本國政府よりの訓電に接し次第直に之れを我政府に通告するの手續を執るべし又幣原駐米大使よりも米國政府より手交せられたる招待状を直に移牒し來るべし何れにしても帝國政府が米國政府よりの正式招待状に接するは十二日夕刻か或は十三日頃となるべし（某當局談）

請待狀手交詳報

【東京電報】亞米利加政府は各國より參加回答全部を接手したる結果近く正式招待状を發送すべしと期待せられつゝありし所愈本月十一日附を以て日英佛伊並に支那に對して來る十一月十一日より華盛頓に於て軍備制限に關聯し太平洋及び極東問題に關する會議を開催するにつぎ代表者を列席せしめられたき旨の請待状を各駐米各國使臣に國務卿より手交したり我が幣原大使よりも外務省に向け其旨來電ありたるが本邦駐箚米國代理大使よりも本日中に出頭內田外相に對し同樣の請待状を交さるべし右の結果として華盛頓會議開會は茲に愈決定し各國名重要代表者を選定の上之を亞米利加に通告すべく議題に關する論議も之より進捗すべし

會議請待狀內容
討議範圍は限定せず

【華盛頓十一日發電】大統領ハーヂング氏の太平洋會議招待状本文は曩に大統領は軍備縮少問題と之に關聯して太平洋及び極東問題討議せらるべき會議の提案に對し誠意ある回答を得たるを深く滿足すと述べ『余は今や直接に此問題に關し列國に交渉するの機熟せりと信ず而して同會議に於ては先づ海軍々備の問題第一位を占むべきは勿論なるも其他の軍に備關する諸問題は除外せざるを可とすべしと思惟す又新發明の戰爭用武器の使用を適度に取締るべき提案を制定するを良策とすべし』と論じ更に『國家間の誤解の原因を除去せんがため國際的努力を致す事なくして平和の最後の保障を得んと希望するの徒事なる事』を切論し最後に『太平洋及び極東に關し討議の範圍を制定せんとするは目的にあらず』と斷言せり

我が特使は誰れか
幣原金子原三氏中より

【東京電報】十一月十一日より開會せらるゝ太平洋會議に對し特派使節の詮衡は原首相北海道方面より歸京後迦斷せらるべきが幣原大使が其儘正式全權に任命すべしとの說あり又金子堅太郎子任命說も相當根據あり殊に移民問題につき金子子を委員に任命し其の問題を協議せしむべしとの議ありし時我が外交調査會は金子子に賛成すべしとの議出で山縣公も亦之に同意を與へたる事ありされば今回も亦原首相は同子を推すやも知れず金子子の意向によりては內田外相出馬の說もあり要するに前記三氏の內より其一名に決せんと

米國代表顔觸

【東京電報】米國よりの華盛頓會議出席者はヒューズ國務卿、フーヴァー商務卿及び上院議員ロッヂ氏に內定せり

會議參加代表者は各國五名を限度

【紐育十日發電】太平洋會議開催地並に開會に加盟聯合國の承諾金部出揃ひたるを以て正式請待状は近く發表せらるべく該會議に於ては別に豫備會議を開かず簡單の形式を用ふべきも各國代表者の數に關する希望を要求しあるべし米國政府の意見に依れば參加國たる政府代表者は各國共五名を限りとし加奈陀其の他の自治殖民地會議に列席する場合に於ても之れ等政府代表者にして一殖民地の意見を代表するものに非ずと做し該會議に於ける決議は悉く滿場一致を期すべし多數黨決議は何等拘束力を有せずと

中間銀行問題の經過
或は殖銀と合併か

[illegible]られて居た、而して該銀行は其の夏秋龜一氏が計畫して居た資金一千萬圓の銀行とし、且夏秋氏は[illegible]の筋から補給利子さへあらば財務興業銀行とは何等の關係はない氏の計畫になれる興業銀行は當[illegible]界の不況の折柄とは云へ設立はいと聲明されて居た、處が最近局より既に[illegible]債券發行[illegible]の[illegible]を有せ[illegible]樣である…是れは先般一寸報導した通り……處が最近奉天の財界は例の奉天取引所信託並に殖[illegible]

相當關係がある故に此の際官邊も滿鐵も從來からの感情問題は一掃し非常の好感を以[illegible]であると云ふ意見が官邊其の他に於ても大に動いた模樣である。これかあらぬか關東廳よりは突[illegible]つた又夏秋氏は恰も上京中であるから原口聞一氏代つて出頭する筈であつたが都合により用務[illegible]

支那へ軍備會議の請待なし

【華盛頓十一日發電】大統領ハーヂング氏より英・佛・伊・支の諸國に對し軍備縮小及極東會議の正式招待状發せられしが支那へ達する通告には軍備縮小會議の請待を含まず太平洋及極東會議のみの參加を請待し居れり

佛國政府米政府と聯合救露を希望

【東京電報】米國の露國饑饉救濟に關し佛國政府は本件につき亞米利加と合同救濟する希望を申出でたる所米國政府は右救濟はアメリカン、ミーシュアー、コムミッションを代表するフーバー氏の計畫にして政府の事業にあらず但し佛人が右コムミッションと協力するは喜ばしき事なりと回答せりと傳へらる

西班牙內閣愈々辭職す

【馬德里十一日發電】西班牙內閣は辭職せり皇帝はマウラ氏に內閣組織を委囑せり

各國國際裁判批准終了

【東京電報】常設國際裁判所設置議定書に關し埃國は七月十五日威諾は七月廿八日、白耳義は七月三十日何れも批准を終了したる旨情報局に通報ありたり

朱啓鈴內閣運動
張作霖氏の賛同を得て

【北京十一日發電】葉恭綽氏等新外交通系は現內閣排斥運動を開始したり彼等の機關通信は交通系は張作霖氏の賛同を得たるを以て愈朱啓鈴氏を總理とする內閣を組織すべく外國との借款契約も出來せりと報ぜり

黄河の水害と救恤計畫

【北京十一日發電】黃河堤防決潰四十五個所に及び數十年來未曾有の大水害なり政府は直隸、河南、山東に三省巡化使を置き其の善後策に對し巡化に徐世昌氏の弟を任命すべしと

南京鐵道借款期間滿了

【北京十二日發電】吉田參事官は數日前南京鐵道借款期限到來せるにつき償還不可能なれば借款契約に照し處分すべしと外交部に通告せり

定例閣議

【東京電報】定例閣議は十二日午前十時より永田町首相官邸に開會加藤、山本、野田、內田、床次、高橋、大木各大臣出席加藤海相議長席につき內田外相より最近外交經過の報告あり內外重要政務を審議し人事諸件決定午餐を共にして一時散會せり

朝鮮關係 文官行賞

【東京電報】第三回文官賜役行賞左の如く大正九年十一月一日附を以て公布せられたり

朝鮮總督男爵
海軍大將 齋藤 實
賜金杯一組
朝鮮總督府政務總監 水野錬太郎
敍勳一等授旭日大綬章
朝鮮總督府警務局長 赤池 濃
敍勳三等授旭日中綬章
元朝鮮黃海道知事 申 應 熙
賜金四百圓
朝鮮京畿道知事 工藤 英一
賜金六百圓
前朝鮮[illegible]道知事 李 [illegible] 完
前朝鮮咸鏡北道知事 上林敬次郎
敍勳三等
授瑞寶章一時金一千五百圓
朝鮮總督府遞信局長 竹內友次郎
敍勳三等授旭日中綬章
朝鮮總督府財務局長 河內山樂三
賜金三百圓
元朝鮮總督府遞信局長 持地六三郎
敍勳三等授旭日中綬章
賜金二千圓
朝鮮總督府遞信局技師 岡本桂次郎
敍勳三等授旭日中綬章
賜金三百圓
殖産局長 西村 保吉
賜一時金五百圓
外事課長 松永 武吉
賜一時金四百圓
關東廳長官 山縣伊三郎
賜金杯一組
前關東廳事務總長 杉山四五郎
敍勳一等授瑞寶章
賜金二千圓（以下略）

關東明年豫算
總額一千七百萬

【東京電報】關東廳明年度豫算は歲出總額一千七百餘萬圓にして前年に比し百萬圓の増加なるが其の主因は阿片制度改廢に依り阿片收入の減少する結果なり

太平洋會議と日本
有識鮮人諸君に望む
山縣五十雄

太平洋會議に關聯して朝鮮の當局者が注意を拂はねばならぬ事は在米の排日鮮人の今後の行動である。彼等は世間周知の如く巴里の講和會議に朝鮮獨立の請願を提出した。其後國際聯盟會議に對しても同樣の運動を試み、最近には英國自治領首相會議に哀訴する所があつた。彼等にとつては斯の如き運動を續けることが生命なのである、これによつて志士の假面を被り、無知の朝鮮移民より運動費を捲き上げ、以て衣食の料を得て居るのである。此故に彼等が來るべき太平洋會議に對し、例の通り嘘八百を並べたる排日宣傳を行ひ、極力蠢動を試むべきは豫想するに難からぬ。彼等の運動の骨折損の草臥儲けに終るべきは勿論であるが、無知無理解の鮮人中には彼等の甘言に欺かれる者が無いとも限らぬ、又彼等の運動に呼應して煽動を努むる不逞漢が出ないとも限らぬ。我當局者は豫めこれに備ふる所があらねばならぬ。

これにつき鮮人諸君の忠實なる友人として諸君に告げねばならぬは今回の太平洋會議は國內の問題を討議すべき性質のものでない事である。そこで議せらるべき太平洋問題の範圍は未定ではあるが、國內の問題が議場に上せらるる事なきだけは確かである。假に朝鮮問題なるものありとするも、それは國內の問題で日本自身が隨意に處分し列國の容喙を許さず、又列國が決して容喙せざる問題である。此故に在米の排日鮮人が千萬通の請願を太平洋會議に送るとも全然無益であることは明かで、太平洋會議に一縷の望みを繋ぐは地球の逆轉を希望すると同じく空想であり謬妄である。有識鮮人諸君にかゝる明白なる事を說くは釋迦に說法ではあるが、指導者の位置にある諸君が民衆に此次第を語り、彼等をして煽動者の誘惑より免れしむる外とを努めらるを希望して、斯くは一言したのである。

最後に附言するは日米戰爭の可能性についてゞある。世には漁夫の利を占めんと欲して、日米兩國間に戰爭の起るを願ふて居る者がある。然し彼等はいつ迄も其願の實現を見る事はあるまい。戰爭は双方鬪志ありて始めて起るのであるが、日米兩國共に寸毫も其志しは無い、日本は無論然りで、假に米國より挑戰するにしても我國は之に應する事はない。いつか黑木將軍が米洲の一新聞記者に『米國若し挑戰せば日本は如何にするや』との質問を受けて『其場合には日本は逃げ出すべし』との名答を與へて好評を受けられた事があつたが、將軍の答へはまさしく我國民全體の心理狀態を語るものである。日米戰爭は其の結果の如何に拘らず兩者に何の利益をも齎さぬ、日本が米國を征服する事も出來ねば米國が日本を領有する事も不可能である。兩國の指導者は斯ら戰爭の無益である事を熟知して居る、氣が違はぬ限り如何なる爭論起るも之を干戈に訴ふる事は斷じてない。（了）

外交官異動

【東京電報】十二日閣議にて左の如く決定せり

任大使館參事官 伊國在勤被仰附　總領事 諸井六郎
任大使館參事官、白耳義國在勤被仰附　同 山中千之

政尾公使逝去

【北京十一日發電】暹羅駐箚公使政尾藤吉氏は十一日午後腦溢血にて病死せる旨外務省に公報ありたり

政尾公使略歷

今回逝去せる暹羅公使政尾藤吉氏は愛媛縣出身にして曩きに暹羅政府顧問となり同國皇族の待遇を受けたるが大正四年衆議院議員に當選し米國特派議員團長として渡米したるが後ち暹羅公使に任ぜられ今日に及べり夫人光子との間に一男一女あり

陸海外務協議
軍備制限問題

【東京電報】陸海軍兩省並に外務當局は近く三省の協議會を開き軍備制限問題に關し打合せを行ふべし

文化政治は漸く諒解された
鮮人何れも喜色あり
時實監察官談

文化政治施行以來約二年になるが諸般の施設は着々其の効を奏しつゝあるのみならず鮮民亦漸く文化政治を諒解したやうである。文化政治施行前即ち世人の所謂武斷政治時代と今日とを比較すれば、何人と雖も文化政治を以て時代に順應した政治と認めぬ者はなからう、殊に多年武斷的政治に苦しんでゐた鮮民は何れも文化政治を

謳歌してる

ことは爭ふべからざる事實である、武斷政治時代の憲兵制度なるものは餘り鮮人側から歡迎されぬ模樣であつたが文化政治實施と同時に憲兵制度を廢して警察制度に改めたので鮮人側から非常に歡迎された、此の點は特に鮮人が文化政治の賜として有難味を感じてゐる樣である、教育機關の擴張の如きも以前は八年計畫であつたのを四ヶ年計畫に短縮し大正十一年度中には三面に一校宛普通學校を設置する筈だから鮮民子弟の教育上非常に便宜な譯である、衞生機關の如きも文化政治後大に擴張され現在では衞生機關の備はらざるはなく鮮民は無料で治療を受けて居る、墓地規則をも改正して私有墓地を許したことなども鮮民は何れも悅んで居る模樣である。此外文化政治施行後地方制度を改正して道評議會を設け、地方鮮人の有力者を評議員に任命すると同時に面にも協議會を設け大に民意の暢達を圖つたことなども、文化政治の賜として感謝してゐるやうであるが、殊に文化政治と同時に內鮮人の

差別的待遇

を撤廢したことは非常に鮮人側に好感を與へたらしい、從來官吏でも鮮人は俸給も安いのみならず種々の點に於て差別的待遇を受けてゐたが新制度實施以來は全然此の差別的待遇を廢し鮮人官吏も內地人同樣の俸給を受くるのみならず新に種々の官職にも就くことが出來るやうになつたので鮮人側は何れも文化政治は吾々鮮民の幸福を圖るものであると云ふことを

諒解して

來たやうである、地方官吏に對する鮮人側の思想も大分變つて來たやうで、從來のやうに內地人に對して反感を抱くやうなことは少くなつた、斯は畢竟文化政治の趣旨が漸く鮮人側にも徹底した結果で文化政治の實績を擧ぐるのも遠くはあるまい。而して此の際一言せざるべからざるは『近來稍もすれば文化政治は官僚政治であるとか或は空虛政治であるとか種々の批評を試むる者あるが斯は徒らに文化政治に對して惡評を試むる者であつて、何等採るに足らない議論であると思ふ』云々

警官素質改善
概して良好

朝鮮全道に於ける內鮮人巡査は總數約二萬人にして內鮮人巡査は約七千名なるが是等多數の內鮮人巡査中には制度改革當時突嗟の間に採用したる爲め學力劣等素行不良の者も少からざりしが總督府にては是等素質不良の警官に對しては漸次改善の方法を講じたる結果現在に於ては素質不良のもの極めて少なく制度改革當時の巡査に比すれば學力、素行共概して良好にして是を內地巡査に比するも決して遜色なく却て內地巡査よりも優良のもの少からざるが多數の警官中には今尙ほ素質不良のもの無きにあらざるを以て是等に對しては今後出來得る限り改善の方法を講ずべしと

學校費賦課

京城府鮮人學校費組合本年度の徵收總額十四萬圓なるが何分本年度創始の事にて斯が賦課に就ては非常なる困難を伴ひ府當局は既に三ヶ月以前より約百名の吏員を出し戶每繁雜なる調査を行へたる結果此程漸く完了を告げたれば近く愈大正十年度第一期分の徵收令狀を發すべしと鮮人側は總戶數三萬八千戶あるが其內負擔に堪へざるもの多かるべきを以て結局內地人同樣約二萬戶位にて負擔し最高一千圓位となるべく全部階級を四十級に分つ由なるが何分第一回調査のこととて多少の杜撰なきを保し難き模樣なり

高等警察會議

豫報の如く高等警察事務打合會は十三日午前九時より赤池警務局長の統裁の下に總督府第一會議室に於て開會警務局側よりは赤池局長、丸山事務官、山口高等警察課長、時永田中兩事務官、時實監察官、松村事務課長出席、道廳側よりは千葉京畿、小松忠北、石黑平北、石川全北、武井江原各道警察部長出席事務打合の上正午散會せり

朝鮮司法官定年法
裁判所令中改正
十五日總督府官報公布

久しく其筋に於て慎重研究中なりし司法官定年法は愈裁判所令中改正として十五日總督府官報制令を以て公布同日施行せらるべきが其の改正點左の如し

第二十六條の六 高等法院長年齡六十三年其の他の判事年齡六十年に達したるときは退職とす但し朝鮮總督は高等法院の總會の決議に依り五年以內の期間を定め在職せしむる事を得

附則

本令施行の際現に判事の職に在る者にして本令施行の日に於て第二十六條の六に規定する年齡を超ゆる者及本令施行の日より二十日內に於て其の年齡に達する者は本令施行の日より二十日を經て退職するものとす

前項の場合に於ては第二十六條の六但書の規定を準用す但し第二十六條の六に規定する年齡に五年を加へたるものを超へて在職せしむる事を得す

本令施行の際現に休職中の判事に付ては仍從前の規定に依る

定年法に就て
某當局談

朝鮮司法官定年法實施に就き某法務當局者は語りて曰く由來朝鮮在職の司法官は絕對に其位置を確保せられては居なかつたのである即ち檢察官に在つては終身官として認められて居たのであるが判官の職に在るものは裁判所令第二十六條の六に依つて朝鮮總督は必要と認むるときは判事に休職を命じ得るの規定であつたのである之れは眞の

司法權獨立

とは云ひ難いのであるそこで新政實施以來此の點に對する改革は朝鮮在任司法官の體面の爲めにも甚だ必要な事であるので此の二十六條の六を撤廢する事に就き研究をして居たのであるが愈に內地でも司法官定年法が施行せらるるに至り判事の位置を無制限に位置を與へて置くべきで無いと考へ判事にのみは定年の定めを置いたのであるこれに依て

朝鮮の司法官

も內地と同樣の位置の保證を與へられた事となり司法權の獨立が完全に行使される譯である朝鮮の最上級裁判所の長である高等法院長の定年は特に他の判事の定年を延長し又高等法院總會の決議に依つて更に定年よりも五ヶ年以內を限り在職せしむるの規定が設けられて在るが之れは特別の優遇である事は云ふ迄もない

逝去せる政尾暹羅公使

板橋氏に告ぐ
中島生（寄）

京城日報の社說で朝鮮を殖民地と呼ぶのは不都合とされた。その社說が又不都合だ無理解だとあつて板橋菊松氏は堂々と京城高等商業學校殖民政策講師の資格を以て眞向上段から反駁された。而して氏は『殖民政策は私の專攻する所お疑ひが有れば歡迎する』と言つて大見得を切られた。そこで私は朝鮮を植民地なりと正當に斷定するこの是非について平素疑念を抱いて居たから、板橋氏を煩はして其の垂教を仰ぐべく京日紙に一文を寄せた。長野直彥氏も殆ど私と同時に同欄において質問を出された。之に對し板橋氏は忙中想を筆を執りて『常識的植民論の誤謬』と題し解答文を朝新紙上に連日寄せて居られる、其の御厚意は洵に有り難く感謝します。

さり乍ら板橋氏が私共を目して常識的植民論の代表的意見を有するものと斷じ去られた事は聊か有り難迷惑である。私は自分の意見を述べて氏に質問したのではない、單純に氏の教示を仰いだに過ぎない、此點は氏の御察を仰いで置きたいのである、それから私は板橋氏が『我國今日の如く本國の約二倍に近き植民地をもつて居りながら官民の多くが植民に關する研究を怠り植民地に關する知識に乏しくして今頃朝鮮が我國の植民地であるとか無いとか云ふ事を議論しなければならぬことは誠に以て骨の折れることである』と言ひ、又『斯う云ふ事は我國の植民政策の初學者から能く尋ねられる事である』と申て居られるが、成る程板橋氏が自ら『朝鮮の最高學府で植民政策を特に正科として講義して居る私』と稱される程の深遠なる學殖の所有者から見られたら日本の官民の多くは植民政策の知識に乏しい無識者流であるかも知れない、又私共は『初學者』であるかも知れない、誠にお氣の毒恐縮の至りであります。

私は板橋氏が植民學の大家であることは今度初めて承知した。と同時に京城高商が朝鮮の最高學府であることも初めて承知した。私共は今後板橋氏に依りて深奥なる植民學を教へて頂く機會を臨時に與へられた事を幸福に存じ謝意を表する者である。私共は板橋氏より教へらるゝまでもなく、山本博士の著書や永井氏の著書位は讀んで居る者である。從つて兩氏の著書を基礎とした御說明ならば此の際に敢て板橋氏を勞する必要はない。伺ひたいのは氏の獨創の御意見である、是れより稍氏の高教を蒙るに付いては豫め此事を御詳安申して置きたい。

上林前知事歷訪

前咸鏡北道知事上林敬次郎氏は十二日夜入城せるが十三日總督府に齋藤總督水野政務總監其他各局部長課長を歷訪退官の挨拶を爲したり

普通學校認可

六月九日付富川郡守申請に係る富川郡大阜面北里に大阜公立普通學校設置の件は八月十三日付を以て認可ありたり

松井博士講演

警官講習所長松井法學博士は十五日午前十時より光化門前警察官講習所に於て口演を爲すべし

朝鮮米の價値
各地方の報告

今春大分市に開催せられたる九州沖繩八縣聯合共進會の際東洋拓殖株式會社京城支店より朝鮮米宣傳の爲め白米を寄贈し總督府出張員は各種の機會に於て宣傳に努めしが就中全國産業組合役員會の當日出席者へ對し一升宛を配布し試食の上口評を依頼せしが今日迄に通報ありたるもの左の如し（試食品は神力米）

▲至極美味當地の二等米以上の格なり（東京産業組合中央會出席員）
▲品質佳良にして其の水加減火加減等に於ても內地米と差異なく强て批評を試むれば甘味に於て稍や足らざる處あり（三重縣阿山郡產業組合用府員）
▲色澤風味共に內地品に[illegible]劣ず殆と驚き入感服せり（神奈川縣農務課產業主事補）
[illegible]時價に於ては異る點なく誠に結構なり（大分縣宇佐郡安心院村信用購買組合）

鮮語獎勵規則廢止

內地人敎員に課せられたる朝鮮語試驗規則は曩に制定せられたる朝鮮語獎勵規則發布と共に當然不必要となりたるを以て十五日總督府官報府令を以て廢止の事となれり

海底線開通

關釜間海底線は本月七日以來二條不通なりしが內一條は對馬[illegible]の間に於て故障の箇所發見十二日午前零時三十分全通せり

全鮮中學會議
京城視察の上

奉天に於て來る十月十一日より三日間全國中學校長會議を開催する筈なるが既に出席確定せる者百七名にして尙增加の見込なりと出席者は二團に編成し第一團は十月六日午後十時五十分第二團は十月七日午前九時三十分に南大門驛着の上二團合併して京城に二日間滯在學事視察の上奉天に向ふ豫定なりと

寸璧

上品な趣味娛樂機關の設備の[illegible]京城で京城劇場の如き立派な劇場の新築されたことはよろこばしい▲表木戶から見るとさほではないが中にはいつて見ると堂々たる大歌舞伎である▲但し我れら素人眼には二階が高過ぎる▲三階は一層高すぎる▲高くて傾斜が少いやうだ▲二階三階は坐つてゐて見にくい所が多いといふ噂のあるのはその爲めかも知れぬ▲今一つ見物の苦情は折角激樂に醉うて歸りがけの下足の混雜である▲喧嘩でもするやうな氣で下足を我れ勝ちに爭ふ▲羽織も脫物も滅茶苦茶になると云ふ噂もある▲市民の[illegible]ち構へた大劇場である[illegible]らこの邊は何んとか一工夫あ[illegible]たいものだ▲それにもう一つ[illegible]棄てにならないのは下ッ端に働いてゐる男衆の中に隨分亂[illegible]た男があつて客を客とも思は[illegible]子なので氣の弱い客は不快[illegible]感じてかへるさうだ▲歌舞伎[illegible]いふ藝術の說明も野暮だが[illegible]の出雲の於國の女舞が起原で[illegible]つた國の舞といふ意義から[illegible]て世に阿び媚びるものをかぶ[illegible]者といふに至つたほどである[illegible]客の機嫌どころか劍つくを喰[illegible]すなどは萬一にも事實なら[illegible]けしからぬ沙汰ぢや▲定めし[illegible]だけのことであらう座主も[illegible]も知らないことだらう▲京東[illegible]らの消息によると總督府は來[illegible]度豫算に稅務監督局を置く事[illegible]決定經費を計上したと傳へて[illegible]る▲無論個人所得稅も徵收[illegible]事になれば現在の徵稅組織で[illegible]甚しく主稅局を新設して地方[illegible]務監督局を置くの必要はある[illegible]もう▲財務局としても之れ[illegible]の案は持ち合せて居るが稅務[illegible]吏は專門的智識を必要とし何[illegible]の爲めに二三年の時日と七八[illegible]萬圓の經費を要するもので[illegible]から所得稅も兎に角來年は[illegible]事になつて居る▲從つて稅務[illegible]局設置說も全然誤りであ[illegible]

運送船乘客

◎十二日朝入港[illegible]丸上陸客一等（一七名）本間伊八、[illegible]
◎十二日夜入港壹岐丸上陸客一等（三名）西村飲一、千石貫雄、外人一名 二等（三十四名）三等（百廿七名）

人事消息

▲新補朝鮮軍經理部長谷林主計監及び軍司令部附毛內大佐は十三日午後七時四十分龍山驛着[illegible]
▲十師團經理長高橋一等主計正及軍經理部附魚住二等主計正は十三日午前九時三十分龍山驛に到着[illegible]も着任せり
▲參謀本部第三部長騎兵少將和田龜治氏及び同部附步兵大尉安田[illegible]の兩氏は來る九月中旬大連に於ける輸送委員會議出席の爲め途次來[illegible]すべしと
▲石田登盛氏（全北警察部長）十一日夜入城天寶樓へ
▲富田儀作氏（鎭南浦實業家）十日朝新羅丸にて上陸十一日北行
▲有賀紙吉氏（京城日日新聞社長）同上十時にて北行
▲城數馬氏（京城覆審法院長）同[illegible]
▲齋藤安二氏（朝鮮警察署長）同[illegible]
▲片山龍勝氏（滿鐵理事）十三日十一時歸任
內地へ（釜山）

◎◎◎送別宴 [illegible]竹村談役齋藤證三氏[illegible]事に榮轉につき來る十七日午後六時より京城倶樂部に於て[illegible]會送別宴を開催する由

松井博士講演會
講師 （內務省警官講習所長）松井茂博士
演題 警察の世界的趨勢
期日 八月十六日午後二時
場所 京城公會堂
主催 京城日報社 每日申報社

[illegible]殖銀支店調査

【仁川】仁川七月中に於ける貨物集散の狀況を見るに米穀は端境期のこととて[illegible]五千石を減退せり大豆は豫定の[illegible]ら出荷開始され移出方面は引續き定期受渡實行準備並に仁川中繼き好況裡に越月せり更に移入貿易品として漸次兩綿の廻着旺盛に物は綿布既に盛期を過ぎ冬物縮して輸頗は稀有の盛況を呈し在布の荷着漸く增加せんとする折

當月中の金融狀態

[illegible]何れも[illegible]の增進を示すに至れると同時に所謂夏枯を豫想せし當月中の[illegible]態は米豆資金出廻り共に買付資金の地方送金其他[illegible]常[illegible]されるる資金の流出を見たるのみならず中旬後は冬物雜貨の輸移入漸く盛となり一方新小麥[illegible]る金額約百六十六萬圓を增加し先月に比し二割四分近き增進を示したるは諸物價小騰の反影其他一時的現象に過ぎずと雖も[illegible]

松井茂博士來連

東京警察官講習所長法學博士松井茂氏は同所生徒を引率朝鮮に於ける警察行政を視察中の處安[illegible]

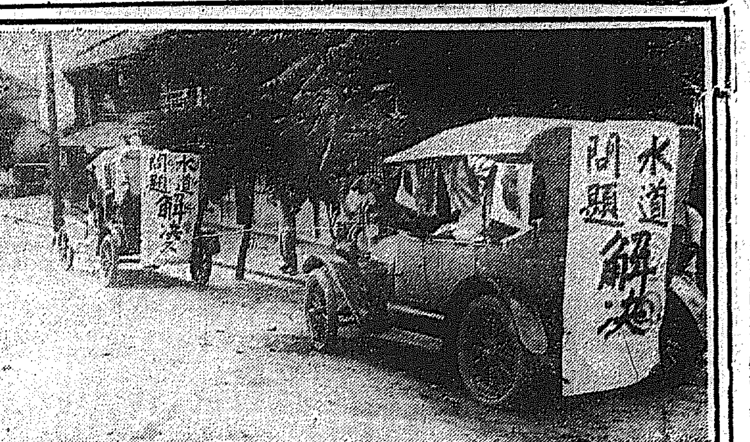
取信の合併契約締結

去る七月臨時株主總會の席上合併案を決定したる奉天取引所信託株式會社は今回新設さるべき[illegible]（當局者に於て研究の結果新設會社は登記終了せざるも效力なる事判明せるにより十日以前の發表に[illegible]り合併契約の締結をなすべき同問題は一ト先づ解決するに至れり（奉天）

[illegible]氏は同社が富士紡績株式會社と合併する要件を帶び先月上京中の處同社を富士紡績に合併する大體の方針は既に確定したる由にて不日條件の細目に就ては安東に於て兩社重役の間に協定行[illegible]

[illegible]連決退任の[illegible]り今日迄殘存常務の位置にありしも遂に今回退任するに至れり因に同氏は表面殖銀預金に對する責任を帶び退任せりと傳ふるも全然本件には關係なき由なり

▲[illegible]氏（[illegible]）十日出帆の[illegible]丸にて[illegible]▲原田[illegible]氏（龍口銀行營口支店長）同上（大連）



水道問題解決

仁川の報告宣傳

【仁川】既報の如く難題とせられた水道移管問題解決の報告宣傳は十二日慰勞懇親會の當日午前十時から宣傳委員十餘名が數臺の自動車に分乘市內各方面に疾走して約一萬數千に達する宣傳ビラを撒布し以て市民への報告に代へた其の宣傳に曰く「故伊藤統監に依つて惠與せられた仁川水道は完全に仁川府に移管に決す、吾人は永久に斷水の憂ひなし右報告す」と自動車の兩側面後には『水道問題解決』の大文字を貼出して市民の注意を惹き勇ましく練り廻つて午後一時終了、同夜午後七時からは八坂樓に於て解決慰勞の大懇親宴を催した（寫眞は當日報告宣傳の光景）

空前の大快擧

智異山天幕探險隊

九月一日壯途に就く　猛者の參加を歡迎する

消沈せる一般の意氣を鼓舞

【全州】全羅北道勸業課の主催として三輪山林課長專ら斡旋しつゝある智異山探險隊は贊成者已に十餘名に達し居れるが登山の趣旨は一は消沈せる一般の意氣を鼓舞し元氣の養成に在り一は林相變化の狀況及び森林分布の狀態視察の目的にて幸ひ朝鮮森林植物に造詣深き總督府石戶谷技師も參加する事となりたるが智異山は慶尚南道山淸咸陽兩郡に跨り海拔六千三百二十尺にして千古斧鉞を入れざる

南鮮中第一の大深山大密林

なるは云ふまでもなく植物としては栗赤松樅類シデ類唐檜樅ハイ松と云ふが如き容易に見ることの出來ざる數千種の植物繁茂し頂上には大鼠穴さへありて熊猪の如き猛獸棲息すとさへ云へるが此の未踏の神境を踏破せんとする勇氣大いに賞す可きを以て

我社全州支局は之が後援者

となり出來得る限りの力を盡し支局記者も亦之に參加し登山隊の狀況を一々讀者の前に報道せんとす出發は九月一日、全州より南原まで（十五里）は自動車、南原に於て一切の準備を整へ此處より徒歩にて廿六里（四日間にて）を跋涉し實相寺に一泊、中腹なる

天王寺に露營　踏査探險の上

六日歸全の豫定なるが參加希望者は八月二十日までに道廳勸業課三輪利雄氏又は京城日報全州支局まで申込まる可し旅費は二十五圓乃至三十圓位の豫算にて各自辨

參加者の心得として猶毛布外用意する事

尚ほ蛇多く棲息するため細引袋の脚絆を用意し獵銃又は短銃を所持するの必要あり既に參加決定し居る者左の如し

▲參與官朴榮喆▲勸業課長宋發昇▲山林課長三輪利雄▲技手財前康▲京都大學前總督林助手寺入嘉伊平▲李冬甫、柳濟光▲南原郡安部鐵熊、吉村滿六、宮田和平、江種英卿、京日記者西木鷗六

我社は目下金剛山探險天幕旅行隊を組織して前人未踏の神境を跋涉踏査し日々紙上にて其の狀況を報道しつゝあり今また我社全州支局は此の智異山大天幕探險隊の後援者となり一臂の力を致すを快とす參加せよ天下の猛者行けよ半島の健兒而して其の痛快なる消息を齎して吾が讀者を喜ばしめよ

咸南農作良好

【咸興】咸南本年度農作に就て調査するところに依れば春來氣候順變なく雨水も亦頗合に潤澤にして稻苗を初め一般畑作物共に發芽生育順當に經過せしが六月に入り挿秧時期となり一時旱天持續し挿秧困難を感じたりし模樣なりしも同月下旬に至り雨澤潤澤となり一時植付を見合せし地方も一齊に移植を了し爾後例年順調にして溫度も亦例年に比し著しく高溫なりし爲め稻苗の活著並に一般畑作物の發育甚だ良好にして目下稻は只餘に伸支し粟、高粱は穗孕期にあり亦大豆は概ね結莢期を經過し小豆は將に開花の最盛期にして此分を以て推移せば本年咸南の農作は先づ豐作ならんと一般農家は秋收を樂み居れりと

平澤大豆農作

【平澤】振威郡地方に於ける本年度大豆作は降雨多量なりし爲め莖のみ成長繁茂し結實上氣遣はれつゝありしが、近來打續く旱天の爲め莖の上部迄も開花したるを以て結實率は多少遲延すべきも大體に於て本年の大豆は豐作を豫想せられつゝあり尚早生物は目下拔豆として市日毎に多少の出市あり

元知事の治績

【春川】江原道知事元應常氏は既報の如く全羅南道知事に榮轉したるが氏は本道に着任以來僅に三星霜に過ぎざるも其の間治績に精勵鋭意百般の施設着々進捗したるは勿論氏は天性溫厚にして一般部下に對する懇切周密なる一般人民に對する親切圓滿なるを以て官民共に其の德化に馴れつゝありしを以て一般に惜別の情に堪へざるもの、如し

國境は時化が續く

近頃珍しい現象

小人は閑居して不善を爲す　農作物の被害も尠くはない

【安東縣】國境方面では目下雨期に入つたからでもあらうが去る三日頃から降雨があり或は雷雨或は暴風で鴨綠江の增水も甚しく家屋や夜の流失、破損等もあり、支那街の

鴨綠江畔に

沿うたところでは例によつて例の如く浸水家屋も頗る多かつた樣であつたが去る十日はやつとの事で一日丈け晴れ模樣を見せたけれども翌十一日は亦もや雨で滿洲の雨期として珍らしい器物や陶器物などに眞白い黴が生ゆると云ふ始末

室內の閑居

となり不善をなす小人多く差し當り退屈紛れの小賭博が大賭博となる例が多く近頃明々女交りの賭博犯が警察に擧げられ、一方支那人や朝鮮人の下層階級では日々の勞働が出來ず、隨つて賃錢の入る處がないので掻つ拂ひ小泥棒、扨ては喧嘩といろんな不善をなすものが殖えて來る殊に

砂河口方面

より上流一帶殺町になると不潔處か汚穢不衛生極まるものがあるらしく追々惡疫流行の折柄とて惡い病氣が出ねば好いがと當局は勿論一般に心配して居るが田舍は相當に農作物が侵水したり土砂を流しかけられたり結實を損したり想像以上の被害があると云ふ事である

清州選擧期日

候補者十三名

【清州】清州學校組合議員は先に選擧人名簿不備の爲め紛擾を來し五月總辭職をなしたるが彌々八月十五日午前九時より三時迄一般投票を面事務所に於て行ふ事となつた定員十名の處目下候補者十三名に達し居れり左記の如し

大島良士、岡崎豐、大君節藏、山本幸四郎、中川石松、江川小三郎、人見卯平、馬場道彦、中川金平、伊藤共平、前田錦市、齋藤利吉

東宮歡迎方法

平壤は考案中

【平壤】目下御外遊中に在らせらるゝ皇太子殿下は近く御歸朝遊ばさるゝに付平壤府に於ては大々的御歡迎を申上げんとて其方法に就て考案中であると

清州亦大盛況

東宮御動靜映畫

【清州】大每主催東宮御渡歐活動寫眞は十日午後八時より普通學校々庭に於て開催した渡邊內務部長の挨拶に次で高橋社員の開會の辭あり一同君が代合唱の後映寫に移りたるが熱盛なる觀衆は十重二十重に押寄し清州未曾有の人出にして實に六千人の多きに上り大盛會の中に十一時閉會した

寧遠咸興間道路豫定線

踏査終る

【元山】平安南道寧遠郡邑內より咸鏡南道咸興に至る二等道路の豫定線は本年道評議會開催の際滿場一致を以て速成方を決議し其後平安南道に於て該路線の踏査中であつたが路線危惡の爲め工事が困難で豫想以上の工費を要するといふ而して平安南道管內では延長約二十五里此工費約百萬圓咸鏡南道側では延長約十四十五里此工費約四十五萬圓の巨費を投ぜなければならぬ本線は兩道特種の物資の交換配給上重要なるのみならず軍事上及行政上から見るも尤も重要な路線であるから國庫の補助を仰ぎ尚又地方費を經費して急速に實施したいと平南當局者は語つた

共同販賣開始

小賣大商店式

【釜山】釜山商業會議所の宿望となつてゐた同會議所附屬建物たる商品館の利用策として共同販賣所開設の建議は愈々其の運びに至り西町親睦會に於て一ヶ月家賃五十圓にて借受け同親睦會員の有志者等相計つて同館を利用し共同販賣所を開設した同所は一見デパートメントストア式にて何品にても買ひ揃へられ價額も他より二三割方の安値である上に位置も殆ど釜山の中央に當つて居るから開業當日から每日每夜大繁昌を極めてゐる釜山繁榮の一策として且又住民の便宜上誠に意義のある設備であると悅ばれてゐる

鎭南浦へ

耐熱行軍

一氣に十四里を……

【平壤】步兵第七十七聯隊第二大隊は安達少佐統率の下に來る二十日より二泊の豫定を以て鎭南浦に耐熱行軍を實施すべく第一日は往く〳〵攻擊防禦其他各種の演練を行ひ歸途は鎭南浦より平壤まで一氣に十四里を强行軍すべしと

聯隊の特別射擊

【平壤】步兵第七十七聯隊にては十一日午後一時より十二日午前中に亘り射擊場に於て聯隊特別射擊を實施したり

軍人分會評議會

【安東縣】安東在鄕軍人分會に於ては去る十日午後七時より評議員會を開き射擊會及び總會開催の件を附議したるが來る九月二十三日秋季皇靈祭當日午前八時より六道溝守備隊射擊場に於て射擊會開催後同所に於て秋季總會を開く事に決定せり

理科講習會開催

【新義州】新義州公立高等小學校內に於て十一日より十日間每日六時間理科講習會を開催し講習員は平北道各小學普通學校訓導三十餘名にて講師は廣島高等師範學校黑瀨教授なりと

第二艦隊歡迎

【大連】早川滿鐵社長は二十四日大連に入港する帝國第二艦隊歡迎の爲め二十五日夜沿線巡視より一日歸連し二十六日夜同艦隊司令官竝幕僚艦長要港部中野司令官等三十餘名を滿洲館に招待し歡迎宴を張る筈

春川店員表彰式

【春川】春川實業會にては八月十日午前十時より春川警察署演武場にて勤續店員表彰式を催し表彰せられたる藤田商店員辛云兆、田中吳服店員原勝次、[illegible]の兩人に對して時計一個宛と來賓中谷內務部長、武井警察部長、渡邊春川郡守、藤原殖銀支店長等諸氏よりの寄贈品を授與したり當日來會者は內地人側百數十名鮮人側數名にして式後簡單なる午餐會ありて閉會したりと

叺米出品者豫選

【天安】本年十一月慶北大邱勸業共進會開催に當り叺米の品評會あり各道より出品する筈なるが忠南よりは四十點選出すべく決定せり郡中天安は米穀集散地として特に重きをなし五點出品することゝて米穀組合長金谷吉郎氏は組合員より左の七名の出品者を豫選せり

▲金谷吉郎　一點▲柳明烈　一點▲鄭永元　二點▲百濟合社　一點▲谷口治太郎　一點▲崔在寅　一點▲宇鎬漢　一點

銀行會社

安東金融組合　組織改正

安東縣所在安東金融組合は從來の營業成績頗る優良なりしが開業以來の組織にては到底所期の目的を達し得ざるを以て資本金五十萬圓の株式會社に組織を變更する事に決定し目下同組合內に創立事務所を置き創立を急ぎつゝあるが株式は額面五十圓一萬株にして四分一拂込み十二萬五千圓にして既に發起人に於て七千株の見込み成立したれば不日創立總會を開くに至るべく創立委員長潮の口藤太郎氏は十日午後六時より公會堂に於て主なる新聞記者を招待せり（安東縣）

京南鐵道會社移轉

京南鐵道株式會社は昨年以來本町三丁目の狹隘なる假事務所を以て事務を執り居たりしが昨今の炎暑に對し新築中の天安驛前通の新本社建築完成したるを以て愈々十一日の吉日を以て移轉せり（天安）

地方集會

▲大每活動寫眞隊招待　大每活動寫眞隊一行の社員慰勞會は十一日午後一時より官民有志主催にて道廳會議室に於て開會集るもの米田知事以下官民有志者約百五十名にて盛會裡に閉會し一行は午後三時半の急行にて平壤に向け出發（淸州）

▲柵橋氏の講演會　文部省督學官柵橋源太郎氏は十六日午前九時より公會堂に於て講演會を開催する由（新義州）

地方人事

▲林田一郎少將（平壤旅團長）江界部隊視察中の處十九日歸壤の豫定（平壤）

▲中野泉氏（滿鐵平壤工務事務所長）十二日定州に出張（平壤）

▲板倉卓造氏（慶大教授）十二日來壤（平壤）

▲濱田積藏氏（福岡市會議長兼商議副頭）同上

▲福島莊平氏　東上中の處十三日歸壤（平壤）

▲岡本榮藏　今回忠淸北道に轉任しるを以て十一日午前新義州及び安東に來り告別の挨拶をなしたり（安東縣）

▲橋爪萬之助氏（朝鮮銀行上海支店長）九日入港の榊丸にて上海より來連（大連）

▲野原大輔氏（正金銀行長春支店長）同上（大連）

▲有馬純政氏（東京帝大商科教授）同上（大連）

ゴシップ

【奉天】奉天の株界も開市以來頗る順調に進行して居たが近來奧地即ち鐵嶺開原の市場が面白からぬ噂を傳へたのと▲公株の增資を先にするか、交易所の增資が先決問題であるとか、それにモ一ツは昨年の四月迄の好景氣時代に抱へ込んだ株がアチラにも幾らコチラにも何ボーと種々雜多の澤山な株が漸く芽を萌いた者だから機會を見て處分され相なので一寸一寸實行が低迷してるのである▲それもよからう除り順調に帆を上げ過ぎ買へば高くなる一方では又候防の外れまいものでもないから▲だが此の株界で除れ腹黑い事はお互に慎みたいものだ▲交易所の新建築に就いて十冊房の有志が共有金千圓を投げ出し且つ建築敷地をもお世話申さうと出たのは先づ上出來と申上げてよからう

安東の金融狀況

依然混沌たり矣

【安東縣】鐵度が安定すべしと傳へられたる安東の金融界も依然として未だ事實安定の域に達せず木材、豆粕、柞蠶絲の取引も不況閑散裡に推移しつゝあるは事實なり

尤も木材界は

鮮滿各地の建築界漸く活氣を呈し來りたるを以て去る六七月の交に比し幾分活氣を呈し荷動きも亦活潑となりたるかの觀あるも泡沫的に荷捌けするのみにして一般材業者の手に殘る利益は殆ど無く唯無口錢にて木材の取次をなすに過ぎず其の理由は甚だ不思議の感に堪へざる處なるも事實は供給過剩に乘し需用者より其の足元を踏まるゝと缺損又缺損より來る金利の細細或は原木代金の償却に迫はれ

現荒を現金に

代ふる必要上多少の損害を承知して賣急ぐ等の關係にして當業者に取しては誠に氣の毒千萬の感に堪へざる次第なり次に豆粕市場は內地向追肥も既に一段落を告げ今は唯秋肥を待ちつゝあるの時なるを以て豆粕の需用閑散を極むるは自然の然らしむる處唯南滿方面に多少の荷動きあるも是は支那人對支那人の取引なれば日本人貿易商には何等の痛痒を感ぜざる處なり

柞蠶絲市場も

各工場共凡て原料を消費し盡くし安東產の繭絲は殆ど市場に在貨なく纔に地方より僅かに出づる粗惡絲の取引あるも是又既に一段落を告げたる有樣にして商業資本の需用は殆ど閑散無聊に苦しみつゝあり一昨年來恰も雨後の筍の如く創立せられたる所謂泡沫會社も此の儘到底經營維持の見込なきものは解散減資合併等行はれ既に整理し得べき會社は稍整理したるが如きも尚三四の會社も

整理不可能の

ものあるが如し是等も到底本冬の節期を安全に越し得べき見込みなきものは早晚一刀兩斷の大斧鉞を振ふの外なかるべし、此の時に當りて最も不思議なる安東取引株の暴騰なるが只此の株式の暴騰を見て財界安定の兆となすは最も早計の甚でしきものなり[illegible]と云ふを得べし吾が安取株の暴騰したるや其の强材料は採算より出發したるものにあらず、京城方面に於ける京取、京信等の爆騰に刺戟せられ

其の道件れ

となりたることは滿洲奧地、奉天、四平街、鐵嶺方面の無理なる買ひ煽りに乘たる現象にして當分京城方面の株式にして現狀を維持するに於ては或は現在の四十六七圓を持續せんも奧地方の低氣壓が一度變調を呈するに於ては或は意外の反動を見る事なしとは限られず要するに安東の金融界は今猶活火山上に坐するの危險より脫却したりと見る事能はず今秋十月以降にして大なる惡化を見ざるに於ては或は

本年の節期も

無事通過する事あらんも今後二三ヶ月高氣壓低氣壓の出現は最も警戒を要する處なるべしと觀測せられつゝあり

柞蠶絲市場

（前掲）

南鮮第一の高山

智異山

天幕探險隊

參加申込　八月二十日締切
旅費　二十五圓の豫定
出發　九月一日

主催　全羅南道勸業課
後援　京城日報全州支局

商業登記

株式會社漢城銀行取締役白完爀八月六日任期滿了ノ爲重任シタリ
右大正拾年八月六日登記
京城地方法院開城支廳

りん病三藥併用療法

恐ろしい淋病

●捨て置けば生涯治らぬ……

舊式療法を捨て此新式療法に據れ

●新藥エルモール外二種を併用して合理的に淋菌を撲滅す●發效の迅速なるは既に全治者の知る處●本劑は其他に本療法の威力を賞讃しつゝあり

併用藥　フジコール
右新藥に副用藥フジコールを添へ二藥併用を急性の[illegible]

併用藥　治淋甘露

急性用（二劑一組）八十錢、慢性用（三劑一組）二圓八十錢、一圓三十錢、十二圓
●本劑は各地一流の藥店に限り取扱ひ販賣す無き時は直接ハガキ御注文次第代金引換小包にて說明書を添へ急送す

東京銀座鎗屋町一〇
電話京橋九五一番　振替東京一八八番
朝鮮全道代理店
電話二〇七〇番　振替京城二〇二番

整腸常備藥

ラクトスターゼ

本劑はメチニコッフ博士の腸內容中毒說以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリン乳酸菌を生活狀態に於て保有す、本劑は腸管內の異常醱酵乃至腐敗を防止し、膵汁並に膽液の分泌機能を調節し、蛋白質の消化吸收を佳良ならしむる作用あるを以て腸疾豫防及治療劑として多數實驗家に賞用せらる。（文献集あり進呈す）

注意
藥效確實なる乳酸菌製劑は三共發賣のラクトスターゼに限る、類似品あり、乞御留意。

■粉末、錠劑の各種あり■各地有名藥舖にて販賣す

本社　東京日本橋區室町
出張所　大阪淡路町・臺北府後街
三共株式會社

當八月十二日二回

藝題
第一　夏祭浪花鑑　四幕
第二　木村長門守　茶臼山血判取
第三　源平布引瀧　實盛物語
第四　所作事夏の玉川　長唄連　竹本連

[illegible]

片岡我童
市川荒[illegible]
嵐巖笑
外百餘名

午後正三時開演

京城劇場
電話五七八番

◇京龍間の電車賃均一になりましたから何れからも御用向きつけ下さろにも便利になりました
◇電話も開通致しました龍山（四五七）番です御用命願ひます
◇ふとんも御拵へになるなら丁度今が宜ろしい時機です
◇弊店で青島洋行製綿を一手販賣致して居ります卸も小賣も致します
◇品質優良價格低廉內部に滿物綿を包みたる如きものとは比較になりません
◇現金取引で薄利多賣主義を實行致します

綿　布團綿、着物綿
布團地、糸類

龍山練兵場前京龍舘北隣
盬津屋
（電話四五七）

眼科專門
金井眼科醫院
京城若草町（西本願寺通り新道路中程）　電話本局一五五六
入院隨意
日曜祭日診察午前中

金牌受領

本舖　京城　三[illegible]堂

虛弱衰弱に卓効ある!!

栗本醫學博士　齋藤醫學博士　增山醫學博士　土田醫學博士　諏訪醫學博士　阪井醫學博士
實驗御推獎

正しき補血强壯增進劑

キナブルトーゼ

本劑の效用
ブルトーゼに强壯劑たるキナアルカロイド（キナ皮の成分）抱合せしめたる佳味芳香の最新製劑にして有効成分〇、三%を含有し其吸收同化し易きこと從來のキナ製劑に適に卓越す
應用　營養不良貧血虛弱衰弱產後殊に重病の恢復期神身疲勞神經衰弱ヒステース食慾不振及虛弱なる小兒に用ふれば能く身體を强壯にし疲勞を恢復し食慾を進め精力を旺盛ならしめ元氣橫溢精神を活潑にす

種類及賣價
補血强壯增進劑　ブルトーゼ　小瓶金[illegible]　大瓶金[illegible]
神經性貧血特効劑　アルセンブルトーゼ　小瓶金[illegible]　大瓶金[illegible]
腺病質特効劑　ヨードブルトーゼ　小瓶金[illegible]　大瓶金[illegible]
呼吸器系疾患特効劑　グアヤコールブルトーゼ　小瓶金[illegible]　大瓶金[illegible]
健胃補血强壯劑　キナブルトーゼ　小瓶金[illegible]　大瓶金[illegible]
各種共小瓶二五〇グラム入大瓶五〇〇グラム入
本劑は各地藥店に販賣す萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ

說明書實驗錄進呈

發賣元　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町　東京市日本橋區本町　京城府黃金町
振替大阪四五八五　振替東京五九八五　振替京城九九八

涼しく樂しい 自由の別天地 愈々明日に迫つた 美容を整へた月尾島

本社主催の仁川海水浴

灼熱の暑氣から逃れて

涼さ恣まゝにする本社主催仁川海水浴場行も愈々本日に迫りました十四日午前八時二十分南大門出發の臨時列車で同九時五十五分には水清く海展けた仁川に着くのです。車中の痛引に打ち興じ車窓に訪る・潮風に肌寛む間もなく、仁川に着くと恰かも一行の到着を歡び迎ゆるが如くに棧橋にせゝらく潮は頻脚を洗つて今しや洋々と滿ちかけて居るのである・潮風は足場の狭い所も汚て苦しい海州棧橋を避けて行廻する事が十分にして税關の本棧橋に楽し待ち受けた數隻の關平船に乘込むと軈て税關倉庫に繋かれて滿ち來る潮に押され乍ら月尾島の突堤へ運ばれる。

潮風輕ろく袂を挑つて

降り立てば早別天地。連日の苦熱に惱まさる・身には只もう島の容ちや海の囁きに接しただけで神境に遊ぶの心地がする、浴場一間に亘つては幾張りの天幕を設へ脱衣場果た休憩所として開放自由の占有に任せ先づ一服と云ふ間もなく潮は愈滿潮こなる、浸るべし泳ぐべし水中には西瓜取りの餘興も演ずれば眞瓜拾ひの餘興もあり老ひたるも若きも女も小供も拾つたら我が所得泳ぎ乍らにパクリこやるのも勝手次第、浴場浴には土俵が設けられて居るので小供相撲には最も人氣が沸く投げられて砂になつたら其まゝザブリ、之を夜相撲の立みごろには比すべくもない陸上では樹樹の蓮り月尾島の脊岩に小松の點々せる

北端の突角を利用して

寶探しの餘興を演ら。一等懐中時計以下八等迄五百餘點、島が根を無雜作に探して水へ發に釣魚坊主でも拾つたら如何の幸ひ、釣るもよし岸角に腰掛けて白波に足を濡らし乍ら風光を賞するのもよい。要するに涼しい自由の別天地に一日の凉を恣にして命の洗濯を終へ午後五時の臨時列車で歸途に就くのである、一般に注意を要する事は仁川の愛讀者は當日午前九時から十時迄の間に成るべく税關棧橋に集合乘船さる・事十時に臨時列車が到着すれば混雜をするからである。京城の人は成るべく

浴衣かけの輕裝で婦人

は草履を便利とする、辨當は多少の注文には應じ得るが萬一千腹の注文にはならぬ際に各自の携帯をお勸めする。湯茶の用意はしてあるが一千何百と云ふ多數の團員に對して一々茶出す事は容易の事でなく自然不行届勝ちになり易いと思ひますから混雜を防ぎ不便を避くる上に於て成るべく水筒を携へられたが結構です

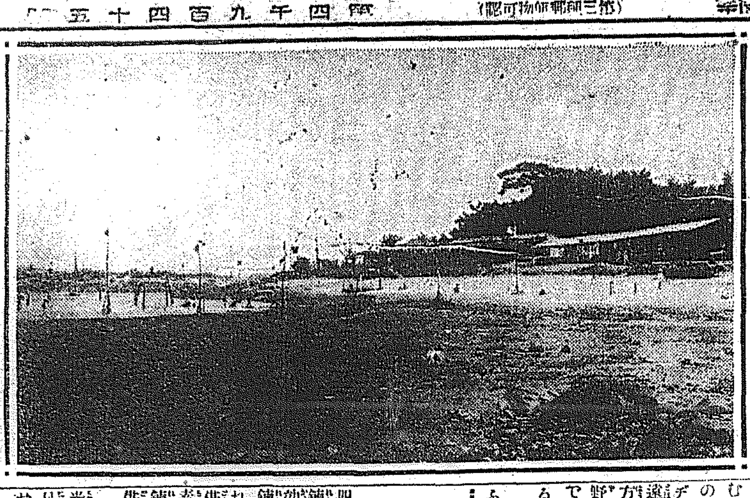
會員券申込遅れの人々へは

京龍方面の會員券申込遅れの方には特にお便宜を計つて當日朝南大門驛前及龍山驛前集合所に社員出張して配布する事に致しました尚浴場引湯は午後三時から四時迄に本社專屬關平船で引揚本社員の先頭で仁川驛に臨時列車の間に合ふ様到着する事になつてゐます

■水上餘興■

仁川關稅所朝鮮菓子株式會社、當務取締役新宮忠三郎氏は小堀流、路水流、日本體育會水泳部各派の達人で今回特に本社の海水浴に贊同され浴場に於て左の秘術を公開されることになつてゐます

▲水中發砲▲水書▲立泳▲浮身八艘▲御前泳ぎ▲瓜剝き▲名種模範泳法▲飛込直下▲順下▲逆下▲外十數番



◇仁川海水浴場 月尾島……

京城師範臨海修學園【第六信】

成興に一日の行遊を試みる。晩きさ快よさ……行く。露にぬれた夏草の中に青な野を汽車は氣持よく走つて

牝牛が一匹

のんびりと尻尾をピンピン打ち振り乍らねそべつて居る向ふのもろこし畠には赭い獄衣を着た囚人のひと群が仕事を止めて此方を見て居る。發育の良い大豆畠の畦道を紅いチョコリを着た朝鮮婦人が頭に籠を載せて歩いて居た。文川の驛の庭には紅薔薇顏に混て色彩の強い赤や黄の

草花が咲き

亂れて居た。汽車は永興で石炭を積み込む爲めに暫く手間どつた。線路の側の松の木で不意に蟬がヂイヂイ鳴き出した。山はだんだん遠ざかつて成上あたりへ來ると方三十里にわたると云ふ成興平野が展開して來た。肥沃な土地で種々の作物がよく發育して居る。城川江の鐵橋にかゝつた。

太祖が命名

したと傳ふる萬歲橋はこの水上に架け比し敢て遜色ないつもの此のであるこのことである。鐵橋を過ぎて客時七分成興驛に着いた。元山より北處まで七十七哩。驛から北へ續くただれたやうな道を歩いて成興高等普通學校を訪ね職員に案內されて町の北にある馬蹄形をした低い松山の麓に登る。西の麓には城川江が流れ遙か南に成興灣の一部が隠みに見え中腹に孔子廟がある。見渡せば眼も遙々の大沃野暢々たる山脈の色こいふ、成興公園

美しい自然

である。李太祖發祥の地として實に應しい處。山を下て成南物產陳列所公立普通學校等を參觀。午後四時の列車で歸元の途に就いた。夕闇に包まれた鮮人部落は所から西の空に懸つた半月の光りをあびて夢よりも淡い。元山驛に着いたのは九時。

夏季兒童保健衛生(七)

醫學博士 瀨川昌世氏談

四、身體の鍛錬 身體筋肉の鍛錬は春や秋の時季に比して夏は効果が少い。水泳に依る筋肉鍛錬も、やり過ぎない樣にしなければならない。それと反對に子供は夏を利用して、冬の感冒の素である皮膚呼吸器、粘膜を鍛錬しなければならない。即ち子供は出來るだけ手足を顯はして

戸外に遊戯

させて日光に依つて皮膚を鍛錬する、唯日光直射の下では帽子をかぶらせな但の弱い子供は木の陰の涼しい處で日光の直射を避けて少しく慣れてから強い日光の直射に皮膚を曝すやうにする、海水浴は四五歲以上になつてから行はせた方がよい呼吸器粘膜の鍛錬は

深呼吸に優

るものはない 肺結核の一番宿り易い肺尖部などは、普通の呼吸狀態では空氣の出入がなく、汚物や細菌等が停滯し易い所であるが、深呼吸をすると肺臟の隅々迄新鮮な空氣が出入して肺尖部を非常に清潔堅固にすることが出來る

避暑地に就ての注意

夏の都會は

決して健康の所でない。特に呼吸器の弱い身體、又は熱を始終出すやうな小兒腺病質、神經質の子供、腸カタル・腸炎などの激しい呼吸器病を患つた小兒は次の夏は是非避暑をさせなければならない。或は海濱に行くべきか或は山に行くべきか

海濱の氣溫

は日中は高い位に高い子供なら都會地と變りもない位で、寧ろ海水浴の出來ない子供や乳兒や四五歲位迄の子供ならば樹木の多い閑靜な山に涼しい所に行つた方が利益である、海岸から稍離れ

樹木山林等

隔て、海岸に頗近い所よりも海岸を見た位の所が一番よい、又神經質の子供には海濱は一般に不適當である、光線が強く、波の音が激しくて、安靜といふことが出來ないからである一般に腺病質の子供には山の方が良いとしてあるが、

轉地の効力

といふものはその土地に行つてから數日の中に子供に現はれるもので、血色が良くなり、數日の中に食慾が進み、安眠が出來、尙は體重を計つて見ると著しく增加してるといふやうな狀態であれば、土地が最も子供に適したのであるから此處に一週間も滯在する方がよい、その他一週間も經過して、別に良好な徵候が見えない狀態の場合には寧ろ山へ、又は山から海へといふやうに轉じた方がよい。

市內電車 故障多き 停電又停電

京城市內の交通機關たる電車が頻々として停電又停電、名所名物の少い京城として權に一つの名物かも知れないが斯ういふ名物は俺が國は世界第一の泥棒國だなぞといふと同じ事で餘り香しからぬ事だ、十一日は鍾路二丁目の發電部に故障が起つて午後七時四十分から約五分間づゝ二回も連續的に停電し十三日は午前十時十分頃から約十分間南大門の

本線が停電

した。電車の御厄介にならぬ者はイザ知らず電車を立派な交通機關として之を使用して居る者は少なからず之が爲めに飛んだ迷惑を蒙ることが少くない、絶對にさうと云はぬが不安心し得る程度に停電して欲しい。斯う度々の停電では幾等電車賃を均一制にしたからとて格別有難味を感ぜぬだらう

お日様とお月様【下】

宋金璇

暫くすると、虎が赤ん坊を喰ふ音がするので月順は心配で耐らないので、恐る恐る

『アラ母さん何をして居るの?』

『早く出てお出でよ、良いものを上げるから』

月順と、泰日は障子孔からつこのぞいて、虎であるのに今更に驚いて、如何して逃れようかと考へながら、泰日は

『お母さん、便所へ行きたい』

『そこでなさいよ』

『お父様に叱られるわ』

『ではすぐ歸つて來るんですよ』

月順と泰日は裏の井戸端にある大きな木に手早く上りました。虎はいつまで待つても二人が歸つて來ないので、若しや井戸の中に入りやしないかと思つて、のぞいて見れば二人ともちやんと居るので、虎は

『お前達はどうして井戸の中に入つたか?』

と聞いても二人とも返事をしないので、虎は大きな長い〳〵棒を持つて來て、井戸の中をつゝきますと二人の際は消ゆてしまふのでした。それから木の上に居る二人には耐らなくお可笑かつたので、耐へきれないで、こう〳〵笑ひました。虎は驚いて上を見ますと二人とも木の上に居るので虎は腹を立て

『お前達はどうして上つたのだ』

と聞きますので、泰日は

『隣から油を借りてつけて上つたのだよ』

虎がそのようにすると、すべつて上れないので困つてしまつて哀願しました、月順は可愛相になつて來たので

『隣から斧を持つて來て段をつけて上つたわ』

やがて虎がその通りにすると、するする上りました

二人は大變困つてしまひ

『ア、神様我等姉弟を助け給へ、それならどうか綱を下し給へ』

二人して熱心に祈つて居ると天からスラスラと綱が下つて來ましたので、二人は大層喜んで乘つて、空高く舞ひ上りました。虎は木の上に上つて見ると、二人は空に高く上つてゐるので口惜しくてたまりません、そこで虎は祈りました

『オ、神様如何か、わたしにも綱を下し給へ』

暫くしたら不思議にも綱が下りたので、虎は大喜びで乘りました。そして空高く上つたかと思ふと綱はプツリ切れて、虎は黍畑に落ちて血だらけになつて死にました(此の後今でも朝鮮では黍の莖の赤い斑あるのは此の爲だと申します)空高く上つた月順と泰日は、神の命令で月順は月になり、泰日は太陽になりました。

或日月順は泰日に向かひ

『泰日や、泰日や、私は女の身として眞暗い夜一人で、海山こゝて廻るのは恐くて淋しくつてならないわ』

『それでは姉さん私と代りませうか?』

『そしませう』

そこで二人は務めを變へて、泰日はお月様になり、月順はお日様になりました。けれども月順は女が眞晝に歩くのは嫌だと云つて針を以て身を包みました〔それで私等はお日様を見ると目が痛くて、能く見る事が出來ないと今でも申します〕

月順は強い〳〵光で世界中を輝かしました。勿論自分の居つた家も、あの井戸端をも……。そして夜月順が休む時には其代りに月になつてゐる泰日が世界中を照します(をはり)

社會敎化から見た 生活改善

棚橋氏講演

【中】服裝の改良

次は服裝の改善で此の事も戰後生活の急變からおして當然及ぼされてきた問題で今では殆ど其の實行期に屬し、其の曙光こしてか

子供學生服

などにはだんだん洋風が加味されて改善の傾向を示してゐるが、實こ日本人の服裝は其の着服數に於て餘りに多過ぎる。大陸貧乏國の上に其の被服費は諸外國人のそれに比し二倍乃至三倍の率を示してゐる。而して此の經濟方面からする改善の中心點は婦人の

華美な衣服

に存する處で、實に被服費の節減には斷然たる着服數の減少にまたねばならぬ。それに日本婦人の實振する現在の服裝は實用を無視した單なる優美的のもので、いはゞ時代おくれの時に作られた不完全なもので結局婦人が女こいふ

人格を無視

して單に男子の爲に玩弄物視せられた事を意味するもので、現在の服裝は支那朝鮮其他に比しても一番時代おくれのものであります。天下泰平をうたひ桃源の夢深い時はいざ知らず、婦人も相當に人格を保持して國家、社會の爲に男子と共に活躍的仕事をして進むべき時代、從來の服装な優美式は不合理で實に何等の趣味も認識されない。

長い袂など

それに現在の日本婦人は其形狀から見ても實に非道徳的で元來德性を重んずる事に於て誇りを持つ我が國婦人に鑑み餘りに解放的であります。然し之も根本的形狀の變更には又種々困難なる事情の存在するもので、社會教化上之を道德的ならしむるには『みやこ』又は下着制が必要であります、こゝに於て國の實力充實の上、又社會敎化上服裝の上に大小二つの改善に夫して婦人は先づ形狀の改善と着服數の減少につくすべきであります(つゞく)

京劇二の替

十二日京城劇場二の替り狂言の……大名題であればこそ七八分の入を見せて居るが普通の芝居だつたら空ツ尻入りなんか有りやしがあつて欲しい如に思ふ今日此の慈善クラブの觀劇會が有つた外料理屋組合、券番の總見なごはいのではあるまい、京劇は會社でこそあれ米商賢である理窟では通られない まして開場式の立派に新築されたにしろ劇場その物を東京や大阪へ持つて行く譯にはゆかぬ今度の大名題に大……るまいか敢て社長以下各重役の反省を促す拙て苦言はこれで止めて置いた……衛こいふ役はいくら器用で腕達者な俳優でも體格と顏の立派な人物でないと一向引立來栄のせぬ……味がある△荒五郎の釣船三婦・我童の一寸德兵衛二役女房お辰等皆柄に嵌つた申分の無い役……回の御目見得に[illegible]なかつたか△尉斗目の侍で花道から出た團は道れな木村重成(つゞく)

▲京城組合基督敎會(府米倉町)十四日午前十時禮拝說敎「靈魂不滅の可能性」長谷川牧師午後八時傳道講演「預言者の書かれし時代」米本重太郎氏

午前九時より聖經學校の提唱あり一般參觀歡迎

○南山本願寺 土曜講話(十三日)午後八時より美の生命 川那邊明……

午後八時より通俗傳道講話 ……教監督

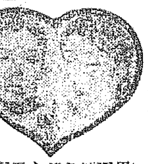
○南山日曜學校(十四日)午前九時より青年川那邊先他の面白いお伽噺ある由

東京蒲田驛前(東洋第一)(電話蒲田一參番)
日本自動車學校
自動車運轉手航空技師養成本科四ヶ月速成科二ヶ月航空科四ヶ月卒業毎月開始す 尋常小學卒業者無試驗入學許可す校外生あり ハガキにて申込み次第七十頁の自動車飛行機研究案內書即刻無料送呈

鍼按灸は最も信用厚き 德永鍼按治療院へ (京城旭町通り一ノ四)
胃腸病、神經痛、子宮、リウマチス、脚氣、關節炎、血管支炎、齒痛、腦病、マラリア

せきつい

病で以來の病人大柱が棒程もさなむるで色々消費してご治療するも甲斐なく泣いて居りました御丁寧の名法奇藥にて難症もナヲりましたこの意味ある喜びの手紙狀澤山寄せられ實に妙二錢切手封入御照會次第詳報す
明石市郡役所前 横山家

七十錢の品無代進呈
はずかしくて親にも兄弟にも聞かれぬ男女の事は何でもわかる……

今回社より百八十頁の男女珍寶一冊……
東京大塚仲町 佐藤 振替東京四三四一八番

京城本町一郵便局横 中村眼鏡店 電話一二七番 振替京城三四四番

金時計抽籤(十一日)
金組八三、九〇、七三、九七、九一、五六、八八、三八、八四、一三、八九、六〇、三〇、五二、七二、六三、五五、四七、二二、二五、
壹號組 八四號組 八三號組
平壤大和町 藤田時計店

くだり腹キツト止る 大人用
實効本位 胃腸全治 一道丸
小人用 はらいたハキツト治る
本舗大阪 廣屋合資會社製
下痢腹痛專門藥 ニア藥店にあり

決算報告
(大正十年六月三十日現在)

借方(資産之部)
未拂込資本金 [illegible]
不動產 [illegible]
營業用什器 [illegible]
原料品 [illegible]
製品 [illegible]
商品 [illegible]
掛賣金 [illegible]
前渡金 [illegible]
未收入金 [illegible]
假拂金 [illegible]
銀行預金 [illegible]
現金 [illegible]
合計 [illegible]

貸方(負債之部)
資本金 [illegible]
積立金 [illegible]
借入金 [illegible]
未拂金 [illegible]
假受金 [illegible]
前期繰越金 [illegible]
當期純益金 [illegible]
合計 [illegible]

損益計算書
收入之部 [illegible]
支出之部 [illegible]

利益金處分案
純利益金 [illegible]
右金額ヲ左ノ通リ處分ス
法定積立金 [illegible]
株主配當金 [illegible]
役員賞與金 [illegible]
後期繰越金 [illegible]
右之通リニ候也
大正十年七月十五日
中央醬油醸造株式會社

本器は一名紫光線帶便電氣治療器と云ひ電燈の球を取り本器の「プラッグ」を捻込めば直に紫光線が出る取扱極便、携帶に便且安全で家庭、醫院用として保健美容上缺く可らざるもの毎日使用すると左記効果があります
一、不眠の方は安眠が出來る様になる
二、體力及精力が盛になる
三、業務、勞働上に愉快と忍耐力を増す様になる
四、食慾が增進し消化力を強くする
五、赤血球を多量にし血液循環を良くする
六、盛に「オゾン」を發生するから黴菌を殺します
七、病が全治し心身共に爽快になります
特に御注意を願ふのは品質の優良なるものを御選びになることで値段が安いため如何はしい偽物を御求めになつた結果故障の頻出で御希望は達せられず後悔せらるゝ例は澤山ある故に定評あるヴァイオレッタを指示して御注文を願ひます 一號型金六拾五圓也 四號型金四拾五圓也
特約店東京銀座高田商會 東京京橋川北企業社○地方特約店募集 照會御無料呈
東洋總代理店輸入發賣元 太田茂實事務所 レブーダンドン社 東京驛前東京海上ビルディング 電話丸ノ內六九二一番七一八四番

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇二〇番 振替京城三〇四番

勿驚半値提供

はいて心地よく體裁極めて上品にして丈夫、雨の日も晴の日も雜作に何の苦もなし、最近科學の進歩で大改造を加へた
新進總ゴム靴
半價發賣 大人用 乙號金一圓五十錢 甲號金二圓 特別號金二圓五十錢 小供用 乙號金四十五錢 甲號金九十五錢
何れも弊店直營のゴム工場製作品にして何れも完全無缺保證の出來る製品にして御希望に叶ふ種々なる新形及黑色及栗皮色等取揃へあります此際一足より以上の申込に應じますからハガキにて御注文及色合の望み書いて今直に申込まれたし郵便代金引替にて送る
東京市日本橋區本石町一丁目 製造發賣元 關谷商店ゴム部 電話本局二三三四番 振替東京四四一三

◎放資の要諦
此の證券化は近時一般財界の顯著なる傾向であります遊資の傾向は刻いて證券の選擇と云ふ事になり其最も衆望を集めているのが鐘紡株でありますが然るに鐘紡は最早や一般に買上げられて來ましたが茲に最も興味ご値上りの大きい望を殘して居るものがあります曰く大株新(大阪株式取引所新株)であります、往年の活躍期では七百圓迄も上騰した大株に注目し放資をすることが目下に於て最も策の得たものであると信じます大株新の百圓内外は何の點から云つても割安であるご斷言して憚りません、此際々御放資を希望致します、當社は此の御利用機關こして充分の要意を整ひ萬遺憾なきを期して居ります
◎諸株延取引取扱
營業案內、手附金表、電信略號、大新放資研究書進呈
大阪市北濱二丁目 大阪延取引株式會社
振替口座大阪四九一〇九電話本局五四九八、五四九九、五五九五、四三五八、一五四八

品質世界一 國產火藥類新荷着廣告
◎山櫻印ダイナマイト
◎官製黑色礦山火藥
◎工業用雷管(六號 六號半)
◎獵用小粒火藥
◎獵用村田雷管
◎導火線、白櫻印、月印
右多少不拘御用命被成下度候
京城蓬來町一ノ九 德本商會 電話七〇四 振替京城一八〇
仁川本町一ノ一 藤木商店 電話四 振替京城三〇二七
仁川海岸町一ノ三 吉田商會 電話一〇一 振替京城一〇四〇

金剛探險隊天幕旅行

太古以來の仙境人間の眼前に展開す

新に命名せる裏金剛

オール大金剛の面目更に大新

外金剛萬相亭にて　田邊特派員

八月五日の記(上)

金剛一萬二千峰と云ふのは大金剛の奈證を例據りにして所謂おほまかな峰數を傳へたものである。從つて世に紹介せられてゐる金剛は之を全金剛の大から見れば、殆ど指を加し得る程度のもの、みで、未だ前人に知られざる未到の地は實る大部分であると云ふも差支ない。

本社探險隊 一行の八月五日

に於ける探險行程は實に此の未踏境を蹴破すべき最初のスタートに入れるものであつて先づ長箭を發して路を西に取り甚名な千佛山を北空に望みつ、天神岩の屹立せる無名の山舘を西南に辿り數至峰望洋臺の北腹を迦ぎする一流の峽谷に沿うて岐路三里餘を殺驟し與に發見せられたる望洋臺頭の大觀を貪しつ、南に三仙峰の峻嶺を極め猛獸棲む鬼ケ峰西南に下つて新務萬物相の中間を通過、

三仙岩下に 於ける萬相亭

に至る四里半を突破し此所に山中第一夜を宿營したのである、然るに前記長箭以西三仙峰北の望洋臺に至る三里の峽谷は嘗は長箭有志の組織にかゝる探險團一行の發見せるものであつて是敢必ずしも宏大さは云へぬが奇岩、秀峰、瀑流の無數に點綴せる之を内外新舊金剛の何れに求むるも眞に得やすからぬ靈境たるを失はない、しかも長箭探訪ねるものゝ無いのは、ひとり大金剛の本面目を沒するのみでなく、長箭それ自身の價値を失する理由となるの恐れがある、そこで一行は

豫定を變更 し特に前記の

峽谷を迦のぼり、後このあたり一帶の峽谷を裏金剛と命名して永久にその名を傳へることになつたのである、一行踏破記は左の通りである　□□□□□

三日夜來の暴風雨は去つたが今猶ほ雨期に在る金剛の地域は白雲濛々として天空を去來し、時に猛雨となり時に晴天となり殆どその豫想に苦しむのが常である。金剛館の一室に鮪魚腹の漁み結んだ一行は五日黎明と云ふに雨を飛びだし逸早く天戸を繰つて大空をうかゞう。『しめたぞッ』つゞいて『諸君準備しろ』空は僅かに天羊君であつた、余も遅れ走せに戸外を仰ぐと成る程待ち兼ねた晴天である。

早速朝餐を すまして出發

を宣し霜降の半ズボン服に紺の脚袢それに草鞋がけの輕裝でピストルと水筒を携帯し一杖かつぐ旅館前に馳せ出す、時に午前七時四十分、潮風面を拂つて爽涼の氣名狀すべくもない、此日一行二十四名と二分して裏金剛組は萬相亭行(探險隊)

本社特派員　光永紫潮
同上　武井天羊
滿鐵派遣員　前田芝三
新潮社特派員　賓輪馴幸
中央人學生　陣内良雄
温井里ホテル案内者　阿部兆次郎

長箭在住者　泉原愛三郎
寫眞撮影師　金方祚
同　擔軍　金允玉
同　同　(以下)

及び長箭有志として特に裏金剛を案内の爲めに參加せる

長箭駐在所長　關口利熊氏
同　巡査　松永銀治氏
同　地　野下福次郎氏
同　有志　伊藤傳三郎氏

の前記の五氏と余を加へて十五名温井里經由萬相亭行(食糧其他手荷物運搬隊)を

長箭在住案内者　天野久吉
此他擔軍八名

の九名によつて編成し午前八時長箭有志十數名に村はづれ迄見送られて此より探險隊は西方山中に食糧隊は温井里に向つて何れも行進す。(以下探險隊の記)□□□

圓閘十五丁に亘る長箭浦畔の朝景色を貪しつゝ行くこと丁餘にして西方の山路にかゝれば忽ち現る、千佛山の靈峰、遙かに山を隔てゝ一行を壓し壯麗美自ら人の足歩を忘れしむるに足る(八月五日午後九時記)

東宮

猿股一つとなつて 甲板で相撲のお稽古 西園寺武官が大關

皇太子殿下御召艦香取、供奉艦鹿島は阿典を發航しスマトラ島を過ぎたる頃より東京のムンスウンの爲波浪高く浪は甲板を洗ふ困難なる航海をつゞけたり鹿島の水兵が波浪に洗はれて行衛不明となりし事に附ても波浪の甚だしかりし事は想像せらる斯かる中にありて皇太子殿下には些も船暈を感じさせ給はず御健勝に渡らせられたるには乘組員一同今更の如く感嘆し奉れり殿下には後部艦橋に定められたる御座所にあり終始逆捲く内にあつてデッキゴルフを遊ばされ波靜かなる時は午後一時より甲板上にて角力の御稽古あり殿下には猿股一つとならせられ小松侯、二荒伯、西園寺氏土屋少將を御相手に數番の御勝負あらせられたるが角力道にては西園寺氏最も強く殿下には始終之に勝ち給ふ事出來られざりしも其の見事なる御手の内には皆々感嘆し奉れりと云ふ(香倫發電)

李王世子妃殿下 御分娩は廿四五日頃 李王家よりは秘書官を差遣せらる

李王世子垠殿下妃方子女王殿下には昨今の御臨月にも何等の御障りあらせられず御機嫌麗しく侍醫及助産婦等の同診に依れば多分來る二十四五日頃御分娩と相成るべく又御誕生後の御模樣より拜察すれば多分男子御出産らしく何れも大いに祈つて居る猶京城の李王同妃兩殿下には特に李王職秘書官子爵李恒九氏をして東京に御差遣さるべく御沙汰あり二十日前後着京の筈なりと(東京電話)

高等飛行術 霞ケ浦の飛行場で 九月一日から第一期練習

英國より飛行將校を招聘して高等飛行術の練習を霞ケ浦の海軍飛行練習場にて白井中佐指揮の下に諸般の準備を完成したるより愈九月一日第一期練習生十二名を入場せしめ練習期間五ケ月とし最初の二ケ月は基本操縦を後の三ケ月は應用練習を爲し第一期は明年一月第二期生は十一月入隊明年三月卒業の筈にて該飛行場に第一期生として入隊すべきは上野大尉上田、杉本、前原の各中尉にして第二期練習生としては下山大尉以下にて上野大尉は休暇旅行先より直に入隊すべく上田、杉本の各中尉は何れも來る廿五日出發霞ケ浦に向ふ筈なりと(東京電報)

耶蘇教徒を中心とせる 大韓獨立團一味 四十二名の内卅名は檢擧された

月下旬大韓獨立大同青年團を組織し鮮内耶蘇教徒を中心とし支那寛甸縣大韓獨立團と通じ朝鮮獨立を企圖する秘密結社光復軍の不逞の徒平安南道一帶に渉つて其時機の到來を期し居る事を探知した江西警察署では去る六月十七日同道大同郡林原面の南湖里なる彼等秘密結社青年團の本據を衝き嫌疑者十數名を引致し

家宅捜査の 結果武器

及多數有力なる證據物件を押收し目下引續き取調中の處七月四日強盜銃砲火藥取締違反其他の罪名を附し所轄で事に送致せられた彼等一團は首領金鳳奎(三)以下四十二名で支那寛甸縣大韓獨立軍司令官李鐸の命に依り各地に光復軍支部を設置し八年八月中一味の金利淑は現首領金鳳奎外十數名を勸誘し大同郡林原面に國民郷村會を組織したが當局の發見する所となり、幹部の檢擧又は逃亡等に戻り且に十一年十一月本據附近の資産家十數名を脅し同月三十日夜同面私立學校教師金國洪(三)の案内にて前記の如く光復軍司令部に武器の供給を仰ぎ最後の行動に出づべく團員中の小壯窃盜なる金宰潤(三)以下十五名を選抜し

團員の勸誘 軍資金の

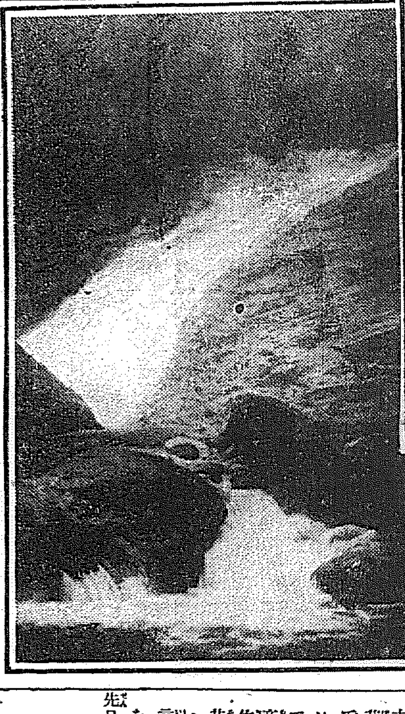
強奪に努め不穩文書の配布等に奔走して居たが當局の取締嚴重にして豫定の如くならず首領金鳳奎は一擧に主義の出現を計らんと

物品の掠奪 不穩文書

の配布等を遂し尚良民を脅迫して武器、文書の隱匿不逞の徒に便宜を與へる事を強要して時機の到來するを待ちつ、居たもので江西警察部の爲め逮捕された者四十二名で内在監中二、死亡二未逮捕の者十二名ありて引續き檢擧に努めつゝありと

モ號釜山入港 一般に見せる

既報十一日午前九時元山を拔錨せる佛國巡洋艦モシカーム號は豫定の如く十二日午後二時五十分頃釜山に入港第二棧橋沖合に投錨せり釜山府廳よりは本田府尹、千代木庶務主任を始め其他古語(?)憲兵少佐、長、海陸兩署長警官民多數並に同艦を訪問し艦長以下乘組員一同へ敬意を表し艦長以下乘組將校は水上署ランチにて其他乘組水兵は艦艇將串艇にて上陸で行ひ因に同艦は十四日拔錨出港の由なれば十三日の旋精酒一樽を贈り尚府尹は十三日正午釜山鐵道ホテルに同艦長以下乘組將校を招待し晩餐會を催し碇泊中は許す限り府内見物其他一般府民に對し參觀を許可する筈にて釜山府よりは乘組員一同にせり(釜山電報)



望洋臺上の隊員(左)
探險隊員が命名せる
羽衣の瀧(右)

本社主催 仁川の海水浴

期日　八月十四日の滿潮(日曜)
會費　大人　金一圓　小人　金五十錢
(仁川の參加者は會費不要)

臨時列車運轉

往　(南大門驛發　前八時二十五分)(龍山驛發　八時三十四分)(仁川驛着　九時五十五分)
復　(仁川驛發　午後五時二十五分)(龍山驛着　六時四十分)(南大門驛着　六時五十分)

會員券發賣所
本社
町田新聞本支店
盛文堂本支店
三省商會

餘興
汽車中に於ける福引、海水浴場の寶探し、海中の果物取り其他種々

俺の格は軍奉行ぢや 陸軍の臺所の切廻しも大ザツパの樣で實は精蜜 新任朝鮮軍經理部長談

新任朝鮮軍經理部長一等主計官谷林德太郎氏は十二日朝鮮連絡船慶丸より家族同伴上陸直に十時發特急列車にて北行赴任の途に就けるが發車前接待待合室にて往訪の記者に語る

朝鮮は屢々通つたがほんの素通りした丈けでよく未知の土地柄であるから隨つて甚だ勝手違ひの處がする私の職掌は昔で云へば軍奉行とも云つた樣な格であるがさて陸軍の臺所の切廻しは如何にも大ザツパの樣に見ゆるが仲々複雜精密で一箇有事の際は一國の人命と財政とを背負つて立たねばならぬ責任を有してゐるので平素でも其の内容に就ては一寸やそつとでは説明申上兼ぬる次第である

朝鮮に内地の師團を移したらなどと云ふ説もある樣だがまさか師團所在地を御留守にしてまでそんな無理は出來まいから特科隊で編成した旅團を移すと云ふ説の間違ひではあるまいか結局其方が遙に理由が認めらるゝ樣だ。次に西伯利派遣軍の撤兵軍を朝鮮の國境防備に充てたらなど云ふ説も之れ亦事實徴兵された上の事でなければ其の以前に於て容易に決定せらる可き問題ではあるまい矢張り武骨一邊の軍隊にも鈍鯊がなくては叶はね

それに鮮内の思想も平靜に復した樣子だからそれ迄の必要はない樣に思はれる目下喧傳されてゐる各國の

軍備縮小と 云ふ事も

出來得れば甚だ結構の事に思ふがそれも御互にうまく相談が纏つた上の事でどちら向つてもさし障のない樣な折合がつく迄は並大抵の事ではないだらう(釜山)

六人の子寶 新任の谷林主計監と照子夫人

十二日午後七時四十分龍山驛着列車にて新任した軍經理部長谷林主計監に隨伴した照子夫人は豐滿な體軀にユッタリとハッキリした口調で絶へず微笑を湛へせながら中訪問の記者に語る

此方は初めてでありますし居りましても大抵東京に住ひました、主人が十五師團に在勤した當時地方にホンの束の間、住ひた丈けであります、此んど　も兒童が休暇ですから隨て參つたのであります、子供は六人居りますが連れて來たのは長男と末兒であります、何れ東京に居ります、教育上の關係があるものですから。家庭教育ですつて不束な私等に申し上げる程の意見はございませんたゞ親譲りの方針を踏むでるのです…云々

墮落下士官に 對しては相當處分した 社會に面目ないと志賀大佐語る

墮落下士官を出したこと龍山步兵第七十九聯隊長志賀大佐の談として十三日附某紙に傳ふる事實は雲泥の相違で針小棒大であるから意に介せぬ唯新聞されたる下士に訓戒して置いた、又龍山漢江通りの商人が云々の如きにつき同大佐に事實を訊したるに大佐は其の新聞を見ないから判らないが『僕はそんなことを斷じて言つた覺がない』とて威儀を正して左の通り語る

先日貴紙にありました下士官の不品行に就ては其後取調べの結果相當事實のあつたことを認めたので夫れ〴〵處置を取つた次第である、軍人も木石でないから演習で苦勞した慰安に多少の遊興は免れぬが社會から嘲笑を招く樣な程度の過ぎた行爲のあつたことは返すがへすも遺憾である、部下に斯る者を出したのは監督の位置である僕の深く遺憾に堪へざる處であると同時に三下士の爲に聯隊を誤解さるゝ虞あるを惜むのである

樺太長官を相手取り 九萬圓の請求訴訟

前樺太長官平岡定太郎氏より權利を讓り受けたる東京小石川區小日向水道端町濱田卓苗氏より樺太廳長官を相手取り提起せる不當利得返還請求(要求金額九萬六百二圓)は十一日豐原地方裁判所にて口頭辯論あり訴訟代理天野奎一氏辯論し平岡前長官を證人として喚問するに決し閉廷したるが次回は東京に於て開廷の筈にて本件は其性質上多大の注目を以て迎へらる(豐原電報)

自殺 軍人分會長 陸相歡迎會の行違の申譯に

新潟縣南蒲原郡大崎村大字三柳在鄕軍人分會長山川文一郎(三)は十一日夜同村地内信越線鐵道線路にて列車に飛込み自殺せり原因は十日山梨陸相が新潟に赴く途中歡迎するに方り會員に通知の手落ちより會員より責められたる申譯なりと(新潟電報)

醉ふて口説き 振られて撲る

仁寺洞四三番地、仲買業金興俊(三)は十三日夜泥醉して知人なる李姫洞二七八番地崔東任方へ遊びに至り主人の留守を幸ひとし其の妻なる韓姓女に無理難題を言ひ懸け韓の抗辯するを洗濯棒にて毆打し尚右手指に負傷せしめしかば韓は東大門署高橋派出所に訴へ出でたれば巡査出張し泥醉せる金を引致し檢束に處した

技手の横領

平北熙川郡在勤蠶業技手村井重政は同郡勤務の李燦然及金某兩名と共謀し過般同郡廳に於て同郡内の蠶繭共同販賣をなしたる際巧に買受人たる片倉組並に生産者との間に於て現金一千餘圓を詐取せることを發覺し此程所轄警察署の手に逮捕され取調の上新義州法院支廳檢事局に送らる(新義州)

不逞の去來

一九日鐵山林郡に達せる中江鎭よりの電報に依れば過般厚昌郡南社方面に現れたる不逞鮮人四十餘名の一團は去る三日更に北坪面に出現せるが其後の行方目下の處不明なりと(新義州)

局員の横領

高知縣安藝郡奈半利郵便局事務員野村綱藏(三)は郵便貯金一萬圓を横領せる事發覺し安藝署に逮捕取調べ中なり(高知發電)

卒同僚に殺さる

山形聯隊第三中隊二等卒濱田宇之治(三)は十日午後同中隊二等卒齋藤德治のために銃口掃除の洗ひ矢を投げ付られて重傷を負ひ遂に死亡せり(山形發電)

中島元司法主任　客月來胃病に罹り歸鄕轉養中なりし府内西大門署元司法主任中島之記氏は名古屋病院にて死亡せり葬儀は鄕里岐阜市にて執行の筈なるが西大門署員一同は十三日府内長沙洞妙心寺にて燒香式を執行せり

記事正誤　昨紙奨忠壇で縊死の記事中大橋済代一は七月十九日退院して二十日大阪に歸鄕せしも再度渡鮮して右始末に及びたるものにして町新聞店には何等關係無き者なりき

廣告

東京三田土ゴム會社製　ゴム製品各種
ゴム長靴
▲大人用　▲小供用　▲婦人用　▲防寒用　毛皮付
▲オーヴァシュース各種
▲毛足袋用婦人直履
其他ゴム製靴各種取揃へ有之候
▲ゴム引布製實用マント
▲ゴム引布製耐水前掛
▲ゴム引布製水作業用筒袖上着
▲ゴム手袋染料用藥品用洗濯用の各種
(洗濯用は婦人方の水仕事に使用すれば手の荒れを防ぐ最も實用品なり)
特約販賣　定價表御希望の方は御申越被下度精々御希望の方は郵券二錢御便宜相計可申候
東京市神田區今川橋停留場前
東京三田土ゴム會社製品販賣所
西山ゴム商店
電話神田二八二番・二四三番　振替東京三三八
(婦人用ロカ月中)

新案特許折疊式　保姆車
坊樣ヤ　孃樣ヲ　乘セテ　散歩ヤ　旅行ニ
△定價貳十七圓△
京城本町二丁目
株式會社　熊平商店
電話長六三二・一四五

巡査御勤務の御方に謹告　夏の砌り各位益々御清穆の段奉大賀候陳者弊店に於て御引立を蒙り居り候處數年に亘り御引立を辱ふし感謝罷在候今回御奉仕の爲め御注文品は格別勉強致し居り候に付ては未だ出張致さざる地方も可有之候間御取調の上各地方に御出張の節御伺ひ被下度候
純金彫刻指輪
一式製作卸商　今村靜鏡
京城南山町二丁目一九
電話二七七八番　振替京城八九三八番　電略(イ)又ハ(イ)
純金彫刻見習十四五六歳の者至急入用

藍浦硯及石器
石器は石製硯其他實用家寶名器
製造販賣元　忠南大川　多田任大堂

葉煙草賣却廣告
當組合九年產留保葉煙草左記之數量賣却候條希望者は至急申出づべし
本品は京城專賣支局淸州出張所内又は當組合に就て熟覽すべし
四等品　五、六〇五七貫
五等品　二、〇五六九貫
等外品　三、四二八貫
右現品は淸州及組合所在倉庫に藏置しあり分割買受の要求に應ぜず
大正十年八月　日
忠淸北道淸州郡米院　山東煙草耕作組合

公醫募集
希望者ハ公醫志願書ニ履歷書ヲ添ヘ本道衛生課ニ提出セラルヘシ
大正十年八月九日　江原道

琴三味線
京城本町一丁目
東京樂器特約
米川樂器店
電話二八三六番

芝居見物

相當の入りがあつた、がドウしないと警して居る者もある、館には一度も無い位の花一行の机機の時に古城座で之は市民の拇握入をさせて花を持たせて内地へ行かうとか初日の寄時は別として場の構造がなどと云ふても茲にあれ丈け後援をした券番が機關として宣言した如くだと歸しては奈何か、之が京劇の名口來之れだけ大名題で一日も今更ら仕方がないが幹部連はこの芝居に頗出しもせぬと云ふ、すれば商賣柄、モー少し萬事に猛然を舉げる所以ともなり今後の第一大入を見せ、否やあれ丈けの所謂會社の重役連がもう少し融通のは決して藝妓衆の甲斐性がない省を促したい京城劇場が如何に京劇として取るべき手段ぢやあ九郎兵衛、元來この團七九郎兵衛大見得を切る型に得も云はれぬ役で居る、三が嚴笑は夫れが完備し△第二の木村長門守が見所であるが大して良い所も無い、長町裏で殿役△長町裏千日前で義平次の取の場は我が忍の演し物で片岡治に刀あびせて花道でキットした十二集の内の一で他の追從を許さない狂言△何故此の狂言を初め

◆京城日本基督教會　十四日午前十時『祈りの原理』午後八時『静かなる信仰』秋月牧師
◆メソヂスト教會(旭町二丁目)　十四日午前十時『恩寵は何處にも』中村牧師　午後八時『神の父より』
◆妙心寺(長沙洞)十四日(日曜日)
○南山本願寺　午後八時より『明恩講』　使者宣○個人　渓内市敬監督
○南山本願寺信友會(十五日)
○龍谷青年會館　十四日日曜講演『默示の理想と光』川大等氏の講演あり

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第五十八席

武左衛門取上げて見て實に膽を潰し武「ア、殘念千萬、然るにても卑怯な奴は佐々木岸柳、天下無二とまで云はれた吉岡氏が鐵砲を以て討たれ流石の名家茲に斷絶致したと云ふは實に口惜い事である、其方速かに仇討出立をしなさい」武「仰せまでもなく一刻も早く復讐を致したう存じます」それから親子相談の上仇討出立の願書を認め、月番老臣加藤與左衛門に差出しました直にも何とか御沙汰があるだらうと思つて居ると、一向其の後何の沙汰もない、[illegible]しく思つたから又一通の願書を出すと云ふと、是亦取上た儘、サア愈々以て心配で堪らないから、武左衛門「一日加藤與左衛門の屋敷を尋ね面會の上、武「如何なる譯で武藏に仇討出立の御許しの御沙汰がないのでござらうか」與「是は宮本氏にも似合しからぬ事を云はれる」豫て御子息武藏殿を播州平福から申受でお出でになつて殿様にお目通りを致した時に其許何んと云はれた、親子の縁を切つて養子に申受て參つたと申されたではないか、然るにたゞ實父が討たれたから仇討が致したいと云ふ願ひを致すればさて是は御聞き屆けになる譯がない、是迄はしき例を申すやうだが、是が御邊の身に災はひがあつたらいざ知らず、殊に又殿様より改めて武藏と云ふ名前を下し置かれた御子息、何と御願ひなすつても仇討の儀はお聞き屆けになりますまい」と云はれてはたと氣が付き武「イヤ御理解恐れ入りましてございます、然らば期して改めて御願を上げまする」歸宅の上武藏に委細の話をして、此度は武藏修行致したきに依り年の御暇を願ふと云ふ願書を出した、所が直に之は加藤與左衛門から御主人清正公へ言上を致した所、内々賢父の仇討と云ふ事は知れて居ります、けれ共表面武術修業と云ふ態を以てお許しにならぬと云ふ事はない、清正公武左衛門、武藏をお招きになつて清「扨て武藏此の度願書を以て願ひ出でたる武術修業の爲に三年の間、暇を得たいと云ふ願の儀如何にも聞き屆け遣はす、諸國知名の武藝者に就て流れ腕前を勵いて立戻れ、修業中の路用其の外差し支るやうな事があれば、黒田、片桐、福島、蜂須賀、淺野是等の家を訪れて肥後熊本加藤の臣宮本武左衛門の倅であると申し入れゝば、必ず宜きに計らひ呉れる故、疑念なく寄るやうに致せ、予が頼み状を差し出して置かう」武「是は有難き事で」親子の者は嬉し涙にくれ御禮を申上げました清「就ては今日よりたけざう改めてむさしと名乗れ」文字は同じでございますか、呼方をむさしと改め、名乗を正名とお退はしになりました、此の時手ずから下し置かれましたのは、粟田口の住人左衛門尉國次、正寸二尺三寸並に京都綾の小路定利一尺八寸の小刀、お盃を賜はつて上々の首尾で御前を退り、早速旅裝を調へて、いざ出立すると云ふ時に、井上大九郎、木村又藏、阿波鳴門之助等加藤家八虎の面々餞別として若干の金子を贈り愈々熊本を立ち、晝夜兼行急いで乘込んで來た播州沼田郡廣島、家斷絶して仕舞つたから正安に來て、父が横死を遂げた所を見、父兄の墓に詣で「日ならず仇討本望を遂げ、修羅の妄執をお晴らし申す」と、懇に供養を致し、それから敵岸柳の仕へて居る所が播州姫路でございますから、廣島を立つて姫路を指して乘込み、城下旅籠町の巴屋重兵衛と云ふのに宿を取つた、宿屋には肥後國阿蘇ヶ嶽の明神の神職瀬本主膳の三男又三郎と變名をして泊込んで居ります、二十歳に足らぬ若者が、する事なくブラ〳〵遊んで逗留をして居りますから宿の主人を初めとして、家の者も不審を打つて居りましたが、何時しか一同とも懇意になり、此の頃では遠慮なく主人の重兵衛とも色々話をする

重「エ、旦那様、長らく斯うして手前共へお泊り下さいますのは誠に有難い事でございますが何にか思召があつて當地へ御逗留になつて在つしやいますのでございますか」又「イヤ、實は此間からお前に頼まうと思つて居つた」重「ヘエ」

染物洗張師 清水堂 京城府漢江通三 電話七五四番

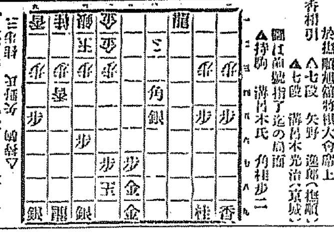
寫眞材料商 島田誠昌堂 京城明治町二丁目 電話本局九壹九番

齒科專門 保齒醫院 淡江通り京龍舘裏 院長 齒科醫學士 瀬文賀

將棋新手合 第十局 (六)

香相引 於撫順旭館將棋大會席上
△七段 矢野逸郎(撫順)
▲七段 溝呂木光治(京城)

圖は前號指了迄の局面
▲持駒 溝呂木氏 角 桂 歩二



△八七桂 ▲六九金 △四三歩 ▲同 ご △九九龍 ▲五四桂 △五一歩 ▲三二龍 △五二銀 ▲六二桂(ナル) △同銀 ▲五二と △同歩 ▲八二歩 △同玉 ▲三二龍 △四一歩 ▲同飛 △七九桂(ナル) ▲同金

(以下次號)

八月十四日

(舊暦七月十一日) 日曜日 ▲己酉 ▲三碧 ▲晴 劍鋒方 ▲佛滅 ▲房宿 ▲除

▼三碧▲意に反する事ある日焦つても駄目新計畫亦面白からず
▼四緑▲順風に帆を揚ぐるが如く諸事至極好都合に進捗する日
▼五黄▲行違ひ多く遂能はざる如き日苦しみ中變なかるべし
▼六白▲足許の狂ふ事ある日特に輕卒を慎む大事は翌日廻し吉
▼七赤▲入り代り立代はり訪客の來る日急ぐほど大破れを來す
▼八白▲失望の日常業は勵ね平調ならんも新事業は見合せて利
▼九紫▲發展の日なるも妄進を戒む起業旅行求職結婚其他皆吉
▼一白▲成功の日意外な吉事に逢ふべく水物商賣の如き殊更妙
▼二黒▲表面は順に見ゆても内實極めて逆境の日小兒衛生注意

仁川金融

[illegible]出廻り多からざりしが氣配堅く[illegible]底固く阪地方面の賣注文に [illegible] 庫高は更に増加して六萬五六[illegible] 消地方の狀況は順氣續きの爲めの需用移動間斷なく其京城市場[illegible] 作柄良好を[illegible]起し人氣幾分復活の緊張に伴ひ [illegible] 株式の移入を[illegible]け七月中の[illegible] 財界の幾分安定の緒に就き[illegible] 又多少の活況を呈し來た[illegible]

日華紡織合併

[illegible]奉天重要物産取引信託株式會社[illegible]この間に法理上[illegible]は設立登記を[illegible] 奉天東に本社を有する日華紡織株式會社[illegible]

常務退任

はるべし(安東縣) 東亞證券商品[illegible]常務退任[illegible]

錐で揉まれるやうに堪らなかつた齒痛がケロリと夢のやうに

鳥村醫學博士有効證明 いまなをるはぐすり

今治水

主効
◆むし齒の疼痛、はぐしの痛、齒の根の疼痛
◆神經、麻痺の痛
◆過熱過冷の飲食物より起る一切の齒痛
其他如何なる齒痛にもスグ偉効ある現代理想的良劑也
ピンセット附 藥價 小瓶二十錢 中瓶三十錢 大瓶五十錢
本舖 丹平商會藥房

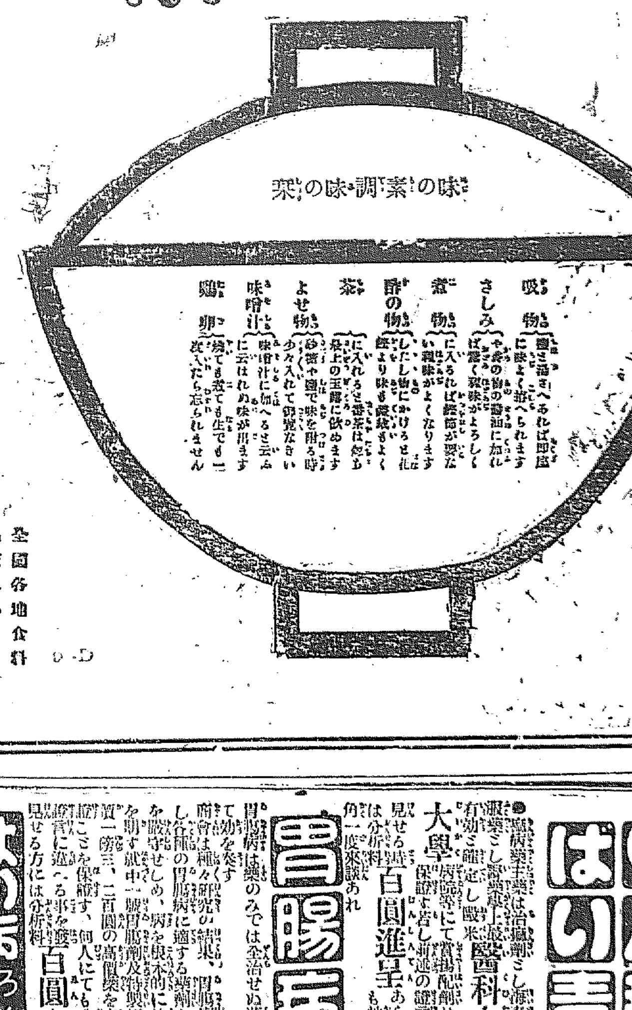
食料品問屋 平壤府大和町十七番地 株式會社 桑田本店 平壤支店 電話一六三番 八五一番 電(ク)振替京城四九七

時代のほまれ 白味噌 釀造元 日本醬油株式會社

土木建築請負業 長谷川組 主 豐松
平壤壽町七拾二番地 設計製圖ノ御好ニ應ズ

資本金六百五拾萬圓 積立金操越金百五拾三萬圓
株式會社 十八銀行京城支店 京城府黄金町二丁目 電話四二〇番五八〇番 一九五七番
同 新龍山支店 振替貯金口座京城八一四番 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 振替口座京城一八貳三番 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申 又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

發明は池田理學博士 日英米佛專賣特許最新調味料
他の天産物を其の儘製造した調味料は年の豐凶や産地の異同に依つて夫々味を含んでゐる割合が違ひますから目方丈を當にして御買になるとトンダ日に合ひますが味の素はドレモコレモ品質が一定して居ます故安心して買へますそして形は小さくともノビがきゝます故他に比較して安いものです
原料は小麥の蛋白質
味の素



全國各地食料品店にあり
本舖 鈴木商店

にきびとり 美顔水 心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生藥
(一)ニキビ、吹出物―婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。
(二)蚤、蚊、南京虫―其他蟲のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺えず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。
(三)皮膚を美しくす―斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を增す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります
(定價特大瓶壹圓參拾錢・大瓶七拾錢・中瓶參拾五錢・小瓶貳拾錢)

發賣元 (東京・大阪) 桃谷順天館

りん病 ばい毒 請合藥 特別八円 特三円 別二円 送料十三錢
本藥はりん病藥主藥は治癒劑と梅毒内服藥として醫學上最も有效と確定し歐米醫科大學帝國大學病院等にて賞揚配劑せる特貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を證明せらるゝ方には分析料百圓進呈あらゆる治療をなすも効なき患者は兎に角一度來談あれ

胃腸病 請合藥 一週間分二円 五十八錢
胃腸病は藥のみでは全治せぬ事と攝生と相待ちて効を奏す當會は種々研究の結果、胃腸病藥に六方を調製し各種の胃腸病に適する藥劑を提供し、發生法を破壞せしめ、病を根本的に治癒せしめんこを期す就中一號胃腸劑及特製胃腸劑には特に貴重藥を主藥として配劑せ一府三、二百圓の高價藥を主藥として配劑せるこを保證す、何人にても分析の結果前述の證言に違へる事を證明せらるゝ方には分析料百圓を進呈す

はいびょう 肺病 ろうまく 請合藥 一週間分 五円 十円 送料十三錢
肺病は不治の病ではない本劑の主藥は現代の醫藥學上最も有効と確定し醫科大學病院等に於て賞揚配劑しつゝある治肺特効藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を證明せらるゝ方へは分析料百圓進呈す本劑は服用三日目に咳を鎭め食慾を進め熱を去り寢汗を留めて安眠せ

補血 滋養素 一百匁のめば 四百五十匁の血が出來る 本劑は血液元素たる(Haemoglobin)にして内務省大阪衛生試驗所に於て分析の結果百分中八五を明せられたる醫藥學上正確なる滋養藥也洋藥貧血の人、虚弱者病後の快復期等の滋養强壯に最適品也詳細は要覽所に就て問ひ合されたし 一週間分 六十五錢 十日分 一円五十錢 送料十三錢

婦人病 子宮 血の道 請合藥 一週間分 六十五錢
御婦人は兎角内氣なのと、つましやかなのとで醫者と打明けるのを厭ひ新聞廣告につられ買藥で、一時逃れをしやうとする方が多いから、るゝ姑息手段をして居る間に病氣が惡症となりて取返しのつかぬことになる、藥をあびる程服んでも體に適宜しきを得ざれば慢性症に陷るのであるから藥は御選擇になさらなくても宜しいから兎に角全國至る處の有田ドラッグ支店に就き病症を打明けて御相談になれば時間を厭はず説明し升

本舖 大阪東京 有田音松
京城南大門外電車通 朝鮮專賣所 有田ドラッグ 長電話(五六七○番) 振替京城四六七

鮮滿專賣所 京城黄金町通 同鐘路一丁目 龍山三角地 山東栄町 新義州木浦町 平壤下水口 元山本町二丁目 馬山都町一丁目 群山東町 大邱 安東縣番通五丁目 奉天公島町 大連岩代町 有田ドラッグ

有田ドラッグにて 有田音松製を御買取あれ 沢山あり

…も傳へられた、又銀行は前記利子問題は打切り同支合辦…支那側の加入申込大に見るべき…の如く
興業銀行 と稱するも彼ものあるにより……こして資本…秋氏の…これに接近しつゝある模…來から債券問題に就いては…利であるこ云ふ見地から漸次夏現しつゝある、而して殖銀は從…
…するの一方だ…ては寧ろ百…出頭を打電して來たので…筆頭一歩を進め…同行を…古賀社長は赤松支配人を帶同して九日夜南行旅程に向…興業銀行に合併したらば好都合…古賀氏等歸奉せば其の邊の消息は判明するであらう

株式金融增加
三銀行の貸出額

金融逼迫を云爲されて大反落を告げたる京取株の十三日前場は反落後最初の

今週落こて一般に市場關係者は反落の餘勢は一段の安値を思はしめたるに相場は却つて別項相場欄の如き反騰を示したるにぞ強弱二派の見解は更に一層氣迷の感を深からしめ弱氣は短期取引日歩は四圓二十錢に引上げられ居るに此の反騰は不自然なり金利高に

逆行する ものなりこ主張し強氣は京取株の觀測は自ら特殊の形式によらざれば不可なるものありて怒々たる現在の株界の人氣は所謂理外の理を走る相場を呈せんこ唱へ居るが京取株に對する金融關係は決して輕視し難きものあるべし試みに京取株金融に就て見るも

密接なる 關係を有せりこ唱へらる、殖産銀行商業銀行の本年（京取創立）の創立ありたる四月當時こ七月末現在この以上三銀行が有價證券貸付の狀況を示せば左の如し

（單位千圓）

	四月當時	七月末
殖産銀行	一、四〇四	二、二八五
商銀本店	九五八	一、〇一七
實銀本店	一、三六七	一、二七五

ち殖産銀行は八十八萬圓商銀本店は五萬圓の増加を示し居れり實業本店七月末四月當時に比しては九萬圓の減少なるも六月當時に於ては

總貸附額 百四十四萬圓に上り四月當時に比して八萬圓の増加を示したり以上三行の有價證券貸出の數字の全部が直に京取關係貸出こ見做し難きは勿論なるも亦以て株式金融の一斑を推知するに足るものあり

東拓金融 積極方針

東拓會社近年の金融は一昨年後半來戰時企業勃發の頹勢こ落し且財界極度の不安定の爲め緊縮の狀態にありしも昨今財界漸く不安期を過ぎ貸出金利も落付き模樣あり前途見越に曙光を得たる爲め各種事業資金其他水利灌漑事業又勃興の氣運に向ひ此種資金の要求漸増するに至りし頽なり新任田淵京城支店副支配人は同社金融部出の古參又姚原參事も共に大連奉天等に於て金融業務に手腕を揮ひたる人なれば今後の京城支店金融部は相當活躍することを得べく御期限の如きも從來特殊のものを除くの外除り長期に亘ることを得ざる事情ありたるも今後は土地擔保又は事業の種類に依りては相當の放資をなすべしこ

朝鮮貿易
入超三千萬圓

大藏省調査に係る朝鮮外國貿易額は輸出二百七十八萬八千圓輸入五百五十六萬一千圓差引二百七十七萬三千圓の輸入超過にて一月以降の累計は前年同期間に比し輸出二百五十八萬三千圓減少の一千五百四十九萬六千圓輸入二千六百六十五萬四千圓減少の四千四百九十三萬六千圓差引二千九百四十四萬圓の輸入超過なり品中減少せる重なる品目は雜穀、麻織物、藁等なり

正米市場認期
未だ書類出揃はず

正米市場の設立に對しては曩に規則を示して再度出願を命ぜしが今尙書類出揃はず一二箇所は道廳より回附し來りしも不備の點あり近に訂正提出を命じ書類出揃へば直ちに認可の手續をなすべきも認可期は尙確定せざるもの、如し

京城在庫減少

京城市内重なる營業倉庫たる商業銀行南大門支店倉庫の外五大倉庫七月末現在入庫高は個數二十一萬七千三百四十四個評價額三百四十六萬六千…にして六月末に比し個數六千三百十個評價額四萬六千八百八十六圓を減少せり而して二十九種商品…

銷夏漫語

加納岩次郎氏（京城郵便局長）曰く僕の仕事好きは一種の病的なんだから仕事を離れては何の快樂もない此の暑中も毎日午前八時から午後三時迄出務して居るので局員諸氏も遠慮して暑中の早引時間が來ても中々退出しないらしいので、僕が毎日出勤して遲くまで居るのを除り思ひやりがない僕であるが決してそうでは無い自宅に居るこどうも身體の具合が悪い仕事を見て居るこ身體の具合が非常によいつまり僕の暑中執務は一種の病除運ひ見たようなものである

京取仲買認期

京取市場の新規仲買人の認可申請は既に道廳に回付せられ來りだ殖産局當局の手許に到達し居らず多分京畿道に於て身元調査中なるべく回付次第殖産局にては迅速に手續きを了すべしこ某當局は語れり

な號債券賣出
利益なる點

本月十五日より三十日迄鮮内各地六百の郵便局所に於て『な號』五分利國庫債券の賣出を取扱ふ事こなつた、その賣出要項は去る二日の官報告示の通り額面は四種で

賣出價格 は二十五圓券が二十三圓二十五錢、五十圓券が四十六圓五十錢、百圓券か九十三圓、五百圓券が四百六十五圓で償還期限は大正十八年六月一日迄である。『な』號債券は。此の建設及改良費に充當するのであつて發行總額は千萬圓である。前回迄十回の賣行狀況を聞くに何時も朝鮮へ配付された債券の大半を賣盡しては居るが、未だ賣行が充分こは云へない、殊に朝鮮の人には殆ご賣れて居ない、これは畢竟未だ國債こ云ふものが理解されて居らぬ爲こ思はれる。今な號國債に就て其の

利益の點 を述べて見るこ年五分の利子の外に九十三圓で買入れた債券が七年九ヶ月の後には百圓になつて歸るのであるからこれを計算に入れるこ年六分三厘の利廻に相當する。其の外政府に對する保證や擔保こしては券面高で通用し、仕拂期の利札は其の儘租税に充用が出來る等色々の特典があり又元利金は朝鮮銀行及各地の郵便局所で容易に受取る事が出來るのである。兎に角金運用の方法こしては最も安全且つ有利なものである。

南大門 發著 貨物

南大門驛七月中の發著貨物總噸數を聞くに發送に於ては局線六千四百〇四噸連絡線二百五十五噸合計六千六百五十九噸到著に就ては局線一萬七千五百十三噸連絡線千八百八十一噸廻送貨物八百十四噸合計二萬二百八噸にして到著に於ては局線二千二百〇八噸增加し連絡線二百九十二噸減少し廻送貨物三百〇三噸增加し結局發送に於て千二百十九噸減少し到著に於て二千二百十九噸増加せり

有賀殖銀頭取

豫て東上中の處十五日午後七時五十分歸城すべしこ

金剛砂

▲土鼠が地熱に浮かされて出て來る樣に京城の商人連が京取市場に來まる▲其の鼠連中も今次の暴落には一時的にも姿をひそめるだらうこ思つたがナカ〳〵御熱心に通勤する▲短期取引の日歩は四圓二十錢にした金利高に逆行して京取株を買ふのは考へものだこ説く者があるが相場は理外の理だ飽迄も豬突猛進▲馬車馬的にやるに限るこ反對する▲市場の昨今は馬や豬や土鼠や動物園の縮圖の觀がある▲〇〇會社こ云ふのを計畫中こ聞いて早くもプレミアムが十圓は保證すこ云ふプレミアム保險屋が居るが暴落の折柄發起人は當に努力することであらう

株式（十三日）
現株市場出來値

銘柄		前場 今週引	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	一三六・二〇	一三九・六〇	一三八・四〇	一三九・六〇
	引	一三三・七〇	一三三・五〇	一三六・〇〇	一〇
仁取	寄	一八・七五	一八・六〇	一八・五〇	…
	引	二・〇〇	五・〇〇	…	…
鮮銀	寄	一二九・八〇	…	一二九・五〇	…
同新	寄	四四・〇〇	…	四四・〇〇	…
殖銀	寄	五三・五〇	…	五三・五〇	…
同新	寄	一七・一〇、一七・〇〇	…	一七・〇〇	…
實銀	寄	九・八〇	…	九・九〇	…
商銀	寄	四八・五〇	…	四八・五〇	…
同新	寄	二三・九〇	…	二四・〇〇	…
漢銀	寄	三九・五〇	…	三九・五〇	…
同新	寄	一〇・四〇	…	一〇・四〇	…
韓銀	寄	三八・六〇	…	三八・六〇	…
東拓	寄	六三・〇〇	…	六三・〇〇	…
同新	寄	三一・〇〇	…	三一・〇〇	…
鮮土	寄	一九・九〇	…	一三・九〇	…
朝紡	寄	三六・〇〇、五九・五〇	三六・五〇	三六・〇〇	…
滿毛	寄	一七・〇〇	…	一七・〇〇	…
京電	寄	五三・五〇	…	五三・五〇	…
同新	寄	四〇・〇〇	…	四〇・〇〇	…
電興	寄	七・〇〇	…	七・二〇	…
朝紙	寄	一八・〇〇	…	一八・〇〇	…
朝郵	寄	三九・五〇	…	三九・五〇	…
殖鐵	寄	九・八〇	…	…	…
中鐵	寄	三七・五〇	…	三七・〇〇	…
滿鐵	寄	一三三・〇〇	…	一三三・〇〇	…
同新	寄	三九・五〇	…	三九・五〇	…
東亞	寄	五三・七〇	五三・七〇	五三・五〇	…
同新	寄	三三・五〇	…	三三・八〇	…
朝煙	寄	三七・〇〇	…	三七・〇〇	…
乙の部					
信託	寄	一四〇・五〇	一三八・〇〇	一四〇・〇〇	…
安取	寄	五〇・一〇	五一・〇〇	五一・〇〇	…
大新	寄	一三五・二〇	一三七・〇〇	一三七・〇〇	一三九・〇〇
上取	寄	七五・〇〇	七六・〇〇	七六・〇〇	…
新東	寄	一二三・〇〇	…	一二〇・〇〇	…
短期取引					
京取	寄	一二三・一〇	…	一二三・〇〇	…
仁取	寄	一九・一〇	…	一九・五〇	…
大新	寄	一三〇・二〇	…	一三〇・〇〇	…
滿毛	寄	[illegible]	…	[illegible]	…
朝紡	寄	三三・五〇	…	三三・五〇	…
拓新	寄	…	…	…	…

東京現株

銘柄	十三日前場	十二日後場
鮮銀	一三四・六〇	一三四・五〇
同新	六四・二〇	六四・三〇
朝拓	二六・〇〇	二六・〇〇
東新	二一・〇〇	二二・三〇
同新	二五・〇〇	二五・〇〇
臺銀	一九・八〇	一九・〇〇
同新	二三・七〇	二三・七〇
興銀	二三・〇〇	二三・〇〇
東拓	一七・二〇	一七・五〇
同新	五八・五〇	五七・〇〇
東株	二八・五〇	二九・五〇
東新	一八・七〇	一八・〇〇
滿鐵	六六・一〇	六六・二〇
日清	一七・三〇	一七・〇〇

出來高 甲一萬千八百枚 乙八千二百枚
累計 甲五十七萬七千六百九十枚 乙三十六萬一千五百四十三枚
短期 四十三萬六千百九十枚 八千三百九十枚

大阪株式

銘柄	十三日前場寄付	十二日後場大引
大株	一六七・九〇	一六四・四〇
同新	一三八・〇〇	一三五・九〇
郵船	一四一・九〇	…
同新	…	…
商船	二六一・三〇	二六一・一〇
同新	二二三・三〇	…
鐘紡	三八九・六〇	三八五・一〇
同新	一三九・〇〇	一三九・七〇
東紡	五一・五〇	五〇・五〇
日糖	一〇三・〇〇	一〇一・〇〇
上取	七五・六〇	七五・九〇

銘柄	十三日前場寄付	十二日後場大引
大新	一三六・七〇	一三五・六〇
郵船	一六七・四〇	一六五・九〇
同新	…	…
商船	二六一・八〇	二六一・〇〇
同新	二一一・二〇	…
鐘紡	三九〇・〇〇	三九〇・三〇
同新	…	…
東紡	一三九・〇〇	一三八・一〇
日糖	一〇九・四〇	一〇九・一〇
上取	五一・八〇	五〇・五〇

安東株式

〇十二日後場

	寄付	大引
安取當	五一・〇〇	五一・三〇
安取先	五三・五〇	五三・八〇

〇十三日前場

	寄付	大引
安取當	四九・二〇	五〇・二〇
安取先	五〇・〇〇	五一・〇〇

昨後場引値

短期 京取一二三、九〇▲大新一三三、一〇
週間 京取（今）一二三、三〇（來）一二五七〇▲安取（今）四八、二〇（來）四九、五〇▲信託（今）一二四、〇〇（來）一二六、〇〇▲大新（今）一三一、八〇（來）一三七、〇〇▲仁取（今）一九、〇〇

前場好勢

今朝は週末關係の投げ物を豫想され取組より見るも今週の受玉を惡むるが一面短期の京取は四圓二十錢の高歩を附するなご買方に對する四圍の情勢は面白からざる材料に滿ちたれたるに拘はらず一度び高値を出たる群衆の買氣は惡も衰へず殊に鮮人筋の財力侮ざり難く押目は透かさず買募り來りて

京取 の短期は百二十五圓十錢こ二圓二十錢高に寄り跡週間物好勢を眺めて六圓五十錢こ飛び五圓五十錢と押したが忽ち六圓こ跳ね此邊漸く出直り歩調を示して七圓より八圓稍みを往來し引際九圓五十錢の高値を付けて二十錢こ引け

六圓二十錢方引返 し今週は買方の受腰案外強く週末の投物らしき賣物更になく寄付二十六圓二十錢こ二圓九十錢高を示し跡七圓を高値に六圓九十錢こ打止め二の廻り愈々今週最後の立會に入つて買方の受腰益々強硬になるや擬發進の狙撃的買上げさなり三圓飛びの三十圓ドタに始め跡二十九圓ドタこ押したが大引廿一圓七十錢こ打止め

反撥 來週は二十九圓六十錢こ三圓九十錢高に寄り跡三十一圓を見せて九圓四十錢こ押したが二の廻り今週高を承けて一氣三十四圓こ飛び更に六圓こ躍進したが此邊利喰物に壓されて三圓五十錢こ下押し

八圓四十錢方

信託 は久しく百二十四圓五圓臺に用なしの姿であつたが今朝京取の出直り足を眺めて附商高見越しの買物あり今週二十四圓五十錢こ五十錢高に寄り二の廻り五圓六圓こ上伸し大引九圓五十錢こ

七圓八十錢高 に引け商勢侮ざり難きものがあつた

安取 は安東地場の昨引値五十三圓臺の高値を眺めて買氣強く一面旅買りの煽れも的ひて五十圓十錢こ一圓三十錢高に寄り跡五十一圓ドタを高値さして結局値に引け來週五十一圓こ同事に寄つて二の廻り五十圓九十錢を見せ一圓六十錢こ引け二圓十錢高
八圓十錢一本にて二圓十錢高

五圓五十錢高

大新 は阪地の騰がりを移して短期三十一圓九十錢こ寄り四圓三十錢を高値に四圓引け九十錢高今週三十五圓四十錢引け一圓三十錢高來週三十七圓さ變らず

仁取 は今週百八十七圓五十錢こ寄り跡週末圓係の手詰め投げに崩れ立ち大引一圓…

主要株歩ミ値段

前場
京城（今）二六、二〇　六、八〇　九、〇〇　四〇　二、〇〇
二九、五〇　六、〇〇　五、〇〇
九、〇〇　四〇　三、〇〇　二、〇〇
三、〇〇　三、〇〇　四〇　五〇
五、〇〇　七、〇〇　一、七〇　二、〇〇（來）二二〇
七、〇〇　五、〇〇　八〇　五〇
九、六〇　二九、九〇　八〇　七〇
六、〇〇　四〇　三四、〇〇　五、五〇
〇〇　一〇　五〇　六、〇〇　三、八〇　五、五〇
〇〇　四〇　四、九〇　二〇　一〇
二〇　二〇　一〇　三、八〇　七〇
五、〇〇　七〇　五〇
信託（今）二二四、五〇　五、〇〇
六、〇〇　九、五〇
安取（今）五〇、一〇　五〇、〇〇
三〇　二〇　三〇　二〇
二〇　五〇、〇〇　一〇　一〇
〇〇　五〇　二〇　二〇
一〇　一〇　二〇　一〇
二〇　二〇　一〇　二〇
五〇、九〇　一〇　六〇
大新（今）一三五、四〇　一〇
五、〇〇　四、八〇　四、〇〇
五、四〇　三、八〇　一〇　二〇
仁取（今）一八七、五〇　七〇〇
六、五〇　五、〇〇　二、〇〇
朝紡（今）二六、〇〇
〇　五、八〇　五〇　六、〇〇
短期取引
前場
京取　一二五、一〇　六、五〇
八〇　五〇　六〇　九〇　四〇
〇〇　〇〇　九、〇〇　一〇　五〇　七、〇〇　二〇
〇〇　二〇　五〇　一〇　八、〇〇　四〇
三〇　五〇　八、〇〇　九、五〇
六〇　六〇　五〇　四〇
八〇　二〇　二〇　三〇
二〇　三〇　三〇　二〇
三〇　四〇　五〇　四〇
五、〇〇　二〇　九〇　五〇
八、〇〇　二〇　九、〇〇　八、九五
六、〇〇　二〇　九、〇〇　八、九五
七、〇〇　三〇　九、〇〇　二〇
大新　一三一、九〇　二、五〇　三
四、〇〇　三、〇〇　四、〇〇

京城株式現物取引市場仲買人
株式仲買店
京城黄金町二丁目市場構内
電話長九〇七番一七八五番

株界片々

▲人の行く裏に道あり花の山戰ヤレ勝ヤレ京城逼迫ヤレ日步の受株愈々暴騰ヤレ不圖嚇暴（?）落の京取は今朝からに崩騰しようかこ騰落が立てば意見でも同じて居る▲京取は今日の戰鬪方からは大下痢後の診斷にしがまた鳴内に潛んで居るこ思ふこ中々高いことだが此の頃慢性化らしく小ミカん落したが（?）…▲相場は人氣の所行とは此のやうに京取は落しさうな形勢▲相場は人氣の所行なり避けられた買方が我子可愛さの餘り氣で無いらしい▲然し嬲の暴落に投げ遅れた買方が我子可愛さの餘り上げやうさする處に相場の灰汁が投げて了つた時は相場の方がお先きに失敗して居る時でそれかこ云つてへるものでないこ云ふべきらに言せても理屈はある

電報通信
京城仁川間私設專用電話架設
京城明治町一丁目（地方通信部）
朝鮮商業通信社
電話料前途總額通信

後場は續騰
鮮人筋買進む

後場の京取は日步の一圓下がりに買付けて八圓方の暴落こなり週末八十六圓こ寄つて五圓こ不勢裡に打止めた

成立 の噂さを傳へ前場の鮮人筋の聯合買

秀權の買出動 に短期三十二圓二十錢方に寄つて五圓五十錢跡八圓五十錢こ暴騰して五圓五十錢こ引け今週三十八圓四十錢こ寄つて六圓こ引け來週三十九圓八十錢の高値を生じ

四十二圓十錢こ躍進 し三十九圓十錢こ手堅く打止めた

米況（十三日）
仁川期米
前場小競合

前日阪地の跳返しに二十八圓九十錢と蹴上げ快派の戻り買りに七十五錢こ小強しして打止めしも人氣は依然押目買いに一致せる丈今朝も相變らず人氣強く次寄も當中出來ざるも先二十八圓七十五錢こ阪地に氣配安しも無視して手堅く寄付きたり

▲第一節 大阪三十四圓五十七錢こ二十二丁安を入れしかば當中出來ざるも先五十錢こ忽ち小口の賈物続出し二十四錢こ跳返し六十八錢こ好勢裡に引

▲第二節 大阪仲方鈍きに當中出來ざるも先六十四錢こ始め六十錢さ下迫下せしも押目は依然買氣旺盛に七十五錢こ蹴上げ七十錢こ引

▲第三節 當田來す中十五錢先七十二錢に始めしも阪地の不動に買氣鈍り六十六錢こ押し押目は亦賈方も手控への姿にて下追り八九錢こ持合裡に引

▲第四節 當出來す中〇八錢より六十五錢に戻し先六十四錢より五十九錢と下迫りしが又先は押し四錢持合ひに引

▲第五節 當田來す中十五錢と小戻し先六十二錢の買に十五錢さ持合ひに六十錢さ綴り六錢さ持合ひに大引せり

双方動機待乎

新甫の勢ひに寄りより二百八十丁餘の急騰を示したる相場も快派の戻り賈り旺盛の一面賈方の日先手詰め急ぎを加へ二十八圓三十錢臺に反落し盛らしく六十錢臺に…押目待ちの買人氣に支へられた…まで理想賈に走りつゝあるに反し弱氣は好賣場を待ちつゝ此の時…如く見物して居る樣なる所…反騰に跳ね上げんこする處より到底反撥場の…丈今後之れに打續つ丈けの有力材料現はれざる限り此上深しき反落は望み難きかさ

後場見直す

▲第一節 當中出來ず先二十八圓八十七錢こ二十一丁高に寄付たりしも大阪筋の跳返しに又五圓六十錢、買物蝟集し八十四錢こ好勢ありたり

▲第二節 當田來す中二十錢と寄付七十錢さ押し八十五錢より八十三錢にて堅し伸び

▲第三節 當田來す中二十錢と押し先八十錢こ引公定九十五錢より七十二錢の寄止り

▲第四節 先九十錢より八十二錢より八十五錢と引公定九十四錢

▲第五節 中二十五錢先八十九錢より八十五錢引公定九十二錢九十五錢あり

定期大豆

今前場を以つて納會となれる當限は田の投物に丸北の引物にて十四圓四十錢に寄付きしが跡續いて二錢より投物出しかば脆くも十九錢こ崩れ引けより躍氣一派の買代的殺物に消化して引

▲第二節 當限回の買に十四圓十五錢こ始めし二錢より小口投物現はれ四圓丁度こ押し中十三圓七十五錢さ崩れ平穩の納會を告げたり

	前場公定値	後場公定値
寄付	二八・七五	二八・七九
高値	二八・七五	二八・七五
安値	二八・六〇	二八・五八
止値	二八・七五	二八・九〇
一節	二八・六四	二八・七九
二節	二八・五九	二八・六三
三節	二八・六八	二八・六一
四節	二八・六二	二八・七四
五節	二八・六五	二八・八四

賣買高 當限 中限 一萬五千石 先限 一萬五千百石 一萬五千百石
取組高 當限 中限 先限
來出高 十二萬三千七百石

	寄付	止め
公定二節		
高値		
安値		
報入値段 當限	一三・七五	
取組高	當限 中限二千二百石	先限千石
出來高	一萬四千二百石	

當限大受渡し

内地商人間の注目を惹きし八限の大當限も愈今前場を以つて無事納會を告げしが受渡總高五萬六千三百石の巨額に上り渡方は榊藤新井を先頭に丸北其他鮮人筋なり受方側は不二商業團等にて受方値段は十四圓六十三錢なるが受渡しの内譯左の如し

渡方 ①三、二〇〇石▲㊥八、▲北丸二、七〇〇石▲⑦一、▲㊁三、五〇〇石▲ㇳ八、九〇〇石▲力三、四〇〇石▲㊂一、
受方 ①三八〇〇石▲㊁一、一、三〇〇〇石▲ㇳ一、七〇〇石▲㊄四、二〇〇石▲一、一三、三〇〇石▲スル一、七〇〇石

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸通三丁目
那須仲買店
電話長一三二 又八一二

仕人の勢力

前日の反撥に殊に小口投物一巡の觀ありし處一仁川地米の氣勢を侮りたる前場の賣方の組合よりは七日の收引に對する各店の入萬五千石なり圖の一萬三千石に圖の四五萬石の売方に丸北の投物を以つてし高値にて五千石か一萬石に對しで買方は丸北の五千石をも以つて了の位置にありて相對的に見るも賣方が以つてし買人氣の旺盛なるに決して奇勝をも得べく一面繁盛をも得べく、地方筋の買人も必ず一面において實力に於て一部の力が働くか……

玄人筋買一貫

前前場の堂島市場は投げ物が寄付より一部の下押しに急轉の大二圓四十錢際で深き止まり跡値付は高上逆轉の模樣を見せ八十錢迄持したか今朝は前十七錢挽み一氣に收入して寄付は高買込み玄人筋は總て……の買越にて近頃は北米の三百に始め……先相當の買人氣……玄人筋は同市場に於ては本年の作柄又は作付反別の打撃を苦惱の賈氣が忽ち人氣に緩ぎ居れば作柄以上に於ては今後天候の順調を眺めつゝの形勢なるを以て兼ては一層の……

賣買差引殘

賣方 ㊥一、一〇〇▲⑦三、一〇〇▲太一、五〇〇▲㊁二、〇〇〇▲ヒ五、〇〇〇▲㊦九〇〇
買方 ①八〇〇▲㊀五〇〇▲入市一、〇〇〇▲丸北四、二〇〇▲㊁二、八〇〇▲ㇳ一、〇〇〇

米穀餘聞

▲一つの云話の此の人が其の妻にかこつけ苦にやるの一年中の災難がけて仕事からさいへて來る近頃は非常に重い時局の世に……
▲皮肉な云ひたかなる事……暴落の話……
▲東京米穀取引所では來る十五日の全國米取引所聯合會で鮮米の代用授受問題を提議するさうであるが是非共今日に當つては之れが既に東京取引所で……
[illegible]

京城正米

人氣は何さなく軟調の氣合みなるが貨物薄さに荷主の高張りに下足な支へ今朝は三等合二十七圓四十二錢見當の持合を持續せり

白米氣強し

白米は原料高に歩調合み持合ひなり物薄さ精米筋底を折據合大意る歩調なるが移出は内地荷向へ樣保に電報照會さへあるに沖常見込にて原料さへ不明の狀態なり

釜山正米

今市場は軟調にて商内なく結局慶北三等玄米二十七圓二十錢鮮神五十六圓八十錢所にて三千三百叺の商内ありたり大豆は慶北一等物の強きに十五錢所にて僅の商内ありたり（十三日）

群山正米

八月中限二十七圓六十錢同末限七十錢九月先限七圓八十錢現物七十丁度（十三日）

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
仲買店
電話長三七六 ㊁マルト

東京期米

	十三日前場先限	十三日後場先限
寄付	三三・七〇	三三・七九
二節	三三・六九	三三・七〇
三節	三三・七〇	三三・七二
四節	三三・六二	三三・六七
五節	三三・六一	三三・六八
六節	三三・六七	三三・七六

大阪期米

	十三日前場	十三日後場
當寄	三三・〇九	三三・一〇
止め	三三・〇四	三三・〇八
中寄	三三・〇九	三三・一〇
止め	三三・〇七	三三・〇九
先寄	三二・五七	…

兵庫期米

	十三日前場	十三日後場
當寄	三三・〇九	三三・一〇
止め	三二・〇四	三二・〇九
中寄	三三・〇九	三三・〇八
止め	三三・〇七	三三・〇一
先寄	三二・五七	三二・六九
二節	三三・六三	三三・七四
三節	三三・六三	三三・七〇
四節	三三・五六	三三・七二
五節	三三・五五	三三・七〇
六節	三三・五四	…
七節	三三・五九	…
八節	三三・六〇	…
九節	三三・六六	…
止め	…	…

下關期米

	十三日前場	十三日後場
寄付	三四・一五	三四・二九
九節	…	三四・二五

各地期米

	十三日前場 寄付	止め	十三日後場 寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	三三・五〇	…	…	…

〇十二日後場止め
東京 三三・七四　大阪 三三・四八五
兵庫 三三・四四　下關 三三・四〇三
桑名 三三・九〇　名古屋 三三・三九
熊本 三三・二一　金澤 三三・七二

安東取引所仲買人
原田株式店
安東縣市場通
電話八七四番 二七〇番

大阪三品

〇十三日前場寄付
八月限 三六・三〇
九月限 三五・七〇
十月限 三五・五〇
十一月限 三五・五〇
十二月限 三五・〇〇
一月限 三四・八〇

〇十三日後場寄付
八月限 三五・七〇
九月限 三五・五〇
十月限 三五・三〇
十一月限 三四・八〇
十二月限 三四・四〇
一月限 三四・二〇

株式失權公告
左記當會社株式ハ第一回株金拂込ナキ爲メ失權トナリタリ
[illegible]
大正十年八月
金剛山電氣鐵道株式會社

東京三金の靴
ボックス革特製長靴
一尺六寸より 本皮 二十七圓
同 裏 二十二圓
同特製 二十二圓
ボックス半靴 …
目録寸法用紙要三錢
御注文の節は靴の種類と代金引換の文數を通知あれば代金引換又は送料實費にて御送付申上候
御實用希望の方は特別割引に應じ申候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝 二六九 振替東京 一七一〇三

京日案内
電話 電話賣物あり 五號活字十四字詰五行一回壹圓…
不用電話賣入並に金融 京城明治町ふらんす教會下 電話二六一五番 小出
讓店 自拔の場所至急御來談あれ 府内本町四丁目 電話三一八番 谷 原
中古ミシン高價に買ます ミシン附屬品交換修繕 京城鍾路二丁目 電話三三八 信商會
ほね つぎ くうぢ 京城旭町一丁目 電話二六八 仁川元町 ヤソ教前 中村
ほね つぎ 京城明治町一丁目 柔術道場
讓店 小資金で出來る 資込みあり利益多し 希望の方は 京城黄金町三丁目 電話二七一二 牛田
讓店 櫻井町一丁目 附屬の儘 希望の方は 電話一八七 五番
シンゾウ病に多年お困りの方は左記へ御通知ありたし 仁川 吉木釀造場
歐邦 文タイプライター 中古品格安賣却仕候 有楽物産特約店 丸善會社 電話三一四三番
募集 職工取締員募集年齢四十歳以上五十歳前後 京城太平町二丁目 電話一六八番 朝鮮製綿株式會社

浮草 (25)

入江新八 作
守田早苗 畫

新らしき知人(二)

『もう、お濟みなんですか』

その男は氣輕に、斯う云つて、道代を凝と見た。

『エ、何卒……』

道代は云つて會釋をした。そして、その男とすれ〲に行き違つて、道代は廊下へ出た。その男は、もつと何か道代に話しかけたさうな表情をしたが、其儘電話室に這入つた。

道代も其儘廊下傳ひに中庭を見ながら階子段を上つた。彼女は階子段を上りながら今逢つた男の顔を朦朧と眼の中に印象してゐた。その男は此の二三日前も一度廊下で逢つた人だつた。一度見れば決して忘れることの出來ないやうな、一ト風變つたところのある顔立の人だつた。道代はその顔立が大變好きだと思つた。宮崎さんよりは、もう二つも三つも若いと思つた。宮崎さんが若い銀行員風であるのに比べて、あの人は大變容子が違つてゐる。あゝいふ風をしてゐる人が屹度藝術家といふのであらう。朝鮮の若い人には餘り見ない打扮形だと思つた。

『何んといふ名前の人だらう、……何をしてる人だらう、……何番にゐる人だらう……此宿に泊つてる人なんだらう、……此宿へ泊つてゐる人の許へ遊びに來てる人なのだらうか?……』

そんなことを思ひ乍ら、道代は自分の部屋に歸つて來た。けれども、道代は西日が少し廻つて來た自分の部屋の騒苦しさを避けて、廊下の欄干にもたれ乍ら、中庭の碧梧桐の葉の風に動いてゐるのを見てゐた。彼女はその葉の色の青さが眼の中に溶け込んで來ても、今見た若い人の顔が決して消え去らぬのを不思議に思つた。するとその人が階子段を上つて來る姿が此方から見られた。さうして廊下を廻つて歩いて來た。その男は、段々と道代の佇んでゐる方へ近づいて來た。道代が其所に立つてゐるのを見ると、もう見知り越になつてゐる人の親しみを持つた笑顔を向けて道代の傍へ來た。

『あなたの室は此室ですか。』

と云つた。

『エヽ』と道代は答へた。

『僕は二十一番にゐます。ちとお話にいらつしやい……』

『ハ……』と道代は答へた。さう云つた男の顔を道代は能く見ることが出來なかつた。けれども、懐しみのある聲だと思つた。そして顔を上げると、もう其男の姿は其所を通り過ぎてゐた。道代は、今の男の顔や聲やが自分の眼にも耳にもはつきりと殘つてゐながら、その人の姿が見えないので、何となく心淋しく感じた。誰といふこともなく『男の人』が戀しく懐しかつた。今の人だか、宮崎だか、誰だか知らない……誰だか、若い男の人が戀しくてたまらなくなつた。ぢつと欄干にもたれてゐる所へ女中が來たので、彼女は室の中へ這入つた。そして、女中に二十一番の客の名前を聞くと、その人は『河村雄一郎』といふ文士だと云つて敎へてくれた。

『まあ、あの方が河村さんですか?』

道代は河村の名を聞いて吃驚した。

『御存じの方なんですか。河村さんも、貴女のことを聞いてゐらつしやいましたよ』

と女中が云つた。道代はもう一度河村に逢ひたかつたが、自分から押しかけて訪問する勇氣はなかつた。宮崎が、もう銀行から歸る時刻だと思つたので、道代は逢ひたくなつて宿屋を出て銀行の前の通りを行つたり來りしてゐる中に、とう〲宮崎の姿は見ないで日が暮れてしまつた。道代は、誰にでも、男の人に逢つて話ぶして見たかつた。異性が戀しくて仕方がなかつた。さういふ心持が彼女を自然に銀座の通りの方へ誘つて行つた。すると、不圖、また思ひ掛けなく河村に出逢つた。道代は心が躍るやうにその人の姿を微笑い眼に迎へてゐた。

野田齒科醫院 川本町三丁目

ドクトル 齒科醫 中村安子 明治町二ノ五(フランス教會下) 電話一五八三番

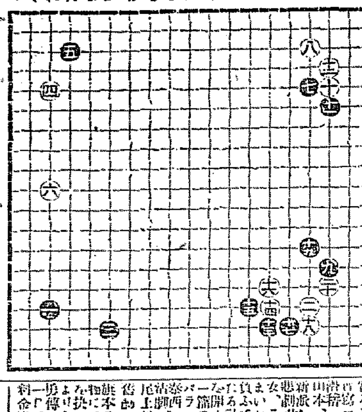
パン 品質本位 神戸屋 電話二一〇五

本町三丁目 物各種 柳行李 製造 販賣 但馬屋 電話長一〇二一番

注射器各種 薬品器械材料 京城長谷川町通 石井赤心堂 電話二二八番

新局碁戰 (一)

三段 先 山田 文 氏
三段 先番 柴山 吉 氏



川柳 夕風

劍花坊選

嚙む時は産婆も産婆頼むなり
評 何となくやゝこしい叙法だ。『べらぼうさいへばべらぼう腹が立て』とか『車屋なのせて車屋が』とか云つたやうなのが自然で、ちつともわざとらしくないが、この句のやうでは何だか面倒臭い

産婆呼び行く間も無し生れたり 共通り川柳

男の兒を産むと本妻な凄さ 蛙面泉

寒い事 太郎不坊知

往來の屋根の音の冴ゆる晩
漲る月鶏池溪の樹に宿り
寒い事一升買で今日も暮れ
寒い事かたまりの酒温める
評 四句の中『塊の酒温める』を最も秀逸と認む。其次は『往來の』

廣告

[illegible]

後ちる

人参 津村兄弟商會 本町 電話一四八〇 一八七〇番

好い婿は死に惡い婿子を仕込み 大 卬 花切
評 とかくおもふやうにいかぬのだ

産盤に男か女きゝたがり 成南新上 流 石
評 女、女、女にちがひない、男ならばさがすさし産盤でわかる

評判の赤い信女が双兒産む
評 『評判の』といふは無領着のやうで勝張に過ぎ、『赤い信女』といふも、もう現代に没交渉な若後家の形容詞であり『更に』『双兒産む』がこしらへものになつてゐる。作者の一考を望む

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 寄附 改 ...

黄金館 黄金町 電話一六三七

幽靈騎手
大正館 電話八七三

寒牡丹
感違ひ
大久保頓譜
勝利者
嵐山花五郎
怖ろしたる女
浪花座 本町一丁目 電話二二八番
四ツ谷怪談
餘興 新派喜劇
京龍館 電話二三〇番
散り行く花
夫物語
粗忽武士

菊水印 パイプ

奥樣の氣轉

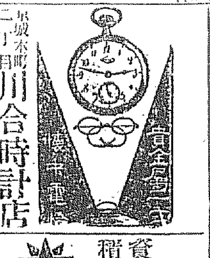
食の進まぬ主人に山海の珍味よりも消化を善くし、胃腸を活動せしむる胃活を差上げてから御主人公の食の味が善くなつた

夏の氣候は、自然と人の胃を弱らし筋肉が弛んで來る。兎角食物が進まず胃腸が倦怠なる、不素より胃の弱い者は、尚更である。

夏ニ胃ノ

胃活の特色
(一) 胃活は單胃劑にあらず
(二) 胃活は一時的消化藥に非ず
(三) 胃活は口中藥にあらず
(四) 胃活は容量大なる藥に非ず
(五) 藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ

定價 一圓五十錢 三十錢 二十錢
本舗 京大阪 山田安民藥房



京城本町二丁目 川合時計店 電話一九八 振替京城二二九一

株式會社 第一銀行 京城支店
資本金五千萬圓
積立金貳千九百五十萬圓
京城府南大門通一丁目九番地
頭取 佐々木勇之助
支配人 藤森忠一郎

高貴御料

いろ白くなる 如何にも自然らしく

日本で唯一つの家庭化粧料で誰方もお用ゐにならねばならぬ社交的日用品であります朝夕の洗面後お風呂上りにお塗けになれば

かみ黒くなる

艶々しい濡羽色して婦人のお髪上げにも男子の分髪用にもこれでなくてはならぬ日本で唯一つの理想的な髪油です、化粧室には必ず無くてならぬ品

ホーカー液

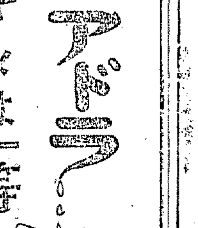
ホーカー美髪液

ホンノリと色を白くし美人となる
ロヤケ肌アレ等の害を絶對に防ぐ
白粉下トキ水に用ゐて理想的にて
子供の肌を丈夫にし髯ソリ後よし
定價 大一圓十五錢 中五十八錢 小廿八錢

艶々と美くしい濡羽色の黒髪となる
赤毛チヂレ毛クセ毛を直すに妙
フケ、ヌケ毛を止め惡臭を去り
香ひ善だよく香水の代用となる
定價 大五十七錢 小三十二錢

ホーカー化粧品本舗
東京神田和泉橋際
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一五四
振替口座東京一五六

日藥 アドラ キメは一等



高峰博士發見世界眼科大醫稱讚の眼科靈藥アドリナリンを主藥とす

定價 廿錢、卅錢 五拾錢
(全國藥店にあり)

東京室町
泰昌製藥株式會社
振替東京二七五七七

赤玉ポートワイン

貴女の御家庭に 貴女の食卓上に 主婦として 最も貴女の御理想を現實された飲料!と申せば それは 貴女の御老父母にも御子樣達にも推奨して憚らぬ 赤玉葡萄酒の一杯!であらねばなりません

模倣品多し赤玉と御指定を乞ふ

汽車時間

京釜線 京義線 京元線 京仁線 湖南線 馬山線